經營國家風景區的十八條準則

林盛豐，實踐大學建築系副教授

2011, 06, 18

準則 1.
地景的神聖性


未来を耕す。
自然の温もりと、ゆったりとした時の流れ……。
忘れかけていたほんとうの懐かしさが、
「おかえりなさい」と、微笑みながら私たちを待っていてくれる。
緑濃き山里や、ほほを撫でる川風、
棚田の澄んだ水に、心もからだも融けていく……。


山の神様？
会ってみたいな……
棚田―たなだ―

準則 2. 本質與特色的洞察

- 特色的確認，地點感的確認，唯一性的掌握

雲嘉南風景區的本質與特色為何？

- 潮間帶，溼地景觀與生態？
- 以生態與風土為產業基礎的產業：鹽田，潮間帶漁業？
- 傳統信仰？

- 日本文化人類學者**和迁哲郎**指出**空間與生活是互相滲透之文化景觀**.
- 一個地方的文化不是單以人的主体形塑而成，而是與**風土加上空間互為主体**形塑而成，所謂風土是某地的氣候、地質、地味、地形、景觀等的總稱.
- 我們必須深入思考：我是誰？ 我的生活空間為何？**我應如何過生活**？
- 北回歸線這一帶狀地區是最具規模，最具**發展出熱帶或亞熱帶生活型態**，經濟及技術模式之地區.
- 我們要發展出一個與台北完全相反的區域發展模式. 我們**要思考這一個地區完全獨特，完全無法被取代的特色.**

準則 3. 生態基礎的重要性

- 每一個歷史悠久的地理區，其人類的生活，產業活動，文化發展都會形成盤根錯結的共生關係 .

- 尤其是傳統的農耕漁牧產業 . 這些傳統產業，必須依附於地理區中的氣候植栽水土等自然條件 . 假使 改變任何一個部份，都可能發生嚴重的後果 .

大地・人・水

稲作文化は

こうして広まった



細膩的生態基礎調查

- 基礎調查越缺乏的國家，保育與管制手段越簡略粗暴．動輒劃定數十平方公里的面積，禁止各種使用，卻無法落實，反而到處違規使用．

- 德國透過細膩的基礎調查，針對小面積的土地，根據其必要性劃設生物圈保護區 (biotope). 大至一條溪流的集水區，小至一個水塘，只要有清楚明確的生態功能．都有可能被劃 biotope.

定価3,900円(本体3,786円)
ISBN4-7851-0215-2 C3051 P3900E

緑のまちづくりシリーズ——道と小川のビオトープづくり
監訳／千賀裕太郎、勝野武彦、岩隈利輝
編／バイエルン州内務省 建設局
集文社

生きものの新たな生息域

道と小川のビオトープづくり

監訳／千賀裕太郎、勝野武彦、岩隈利輝
翻訳／ドイツ国土計画研究会

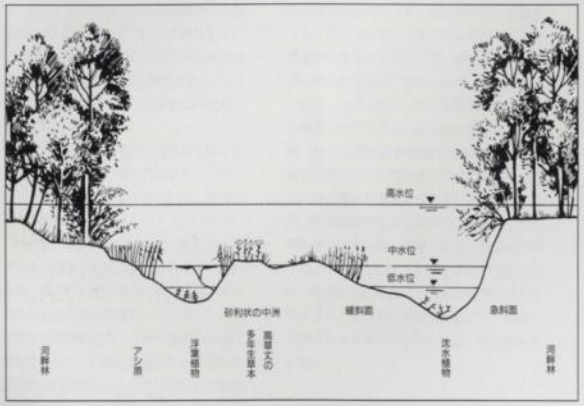
編／バイエルン州内務省
建設局

集文社

生息空間

流水域

自然の流水域は、水域のダイナミズムすなわち水流、浸食、沈澱により形成される。低水位と高水位の間で変化する水流のために、水域の河床は水域の境界を形成する湿地とともに絶え間のない変遷過程に巻き込まれる。流水のもつ力は、川幅を変化させたり、湾曲させたり、さらには流路を移動させるまでにいたり、中洲、浅瀬、淵を形成し、すばやくあるいはゆっくりと流域を形成してゆく。さらに水流の変化は、一時的洪水や地下水位の変化を通して水辺の土地に影響を及ぼす。この水域のダイナミズムによって水位の変動する区域が、水と陸地との接続ゾーンとなる。すなわちこの自然の流水域の縁辺域は、全面的あるいは部分的に水に依存して生息する多くの種のために、固有の生息空間を提供しているのである。一般的には次のことがいえる：水域がその水辺とともに多様に形成されればされるほど、小規模なあるいは微小なビオトープも、その多様な生きものの共同体とともにますます豊かになる。上で述べた支配的要因としての水の流れの違いのほかに、水域やその水辺に大きく影響を及ぼす多くの要因がある。それは主として化学作用（たとえば石灰質や栄養分の含有量）、河床を形成する土砂の特性（たとえば堆積土砂の安定性、異径粒子の結合と分解）、光と温度の諸条件、ならびに酸素の収支の状態である。



自然に近い流水域の標準断面図


十分に自然のある流水域

これらすべての要素もまた、水源から河口まで絶えざる変化にさらされている。たとえば水の作用力は、特にその勾配によって規定されるため、水系の上流部においては浸食、中流部においては移動、下流部においては堆積が主な作用となる。要約すれば、一つの水系に作用する環境要因のすべてが、その都度生息空間に影響を及ぼし、それとともに生きものの共同体の構造に影響を及ぼすのである。こうして水域のそれぞれの断面が、かけがえのない個性的な生態系を形成してゆく様子が明らかになる。

生きものの共同体の主要な構成要素は、流水域の中およびその縁辺の植物である。それは無数の動物有機体の生息空間にもなっている。同時にこの植生が、物理化学的な変遷過程およびその結果生ずる生物的な変遷過程をコントロールしたり、影響を及ぼしたりする（たとえば水の中で陰影をつくりだしたり、水中の栄養分を減少させることによって）。いわゆる環境要因に応じて、流水域とその水辺は様々の群落体系に空間を提供する。水域においては、藻や水草の繁茂、藻の幼生、沈水草種、びっしりと生えた植生から、わずかしか水が貫流していない区域の浮葉植物までが存在するが、一方山岳地以外の水域縁辺部においては、たいていアシやスゲの群集が岸辺へと入り込んできている。陸の区域では、自然の流水域は、種の豊富な草本層のある河畔林を伴っている（詳細は22ページ『生息空間・河畔林』参照）。自然に近い流水域では、たとえば河畔林の残存部分として、線状に連なる低木の区域や、河畔林の代償群落としての湿潤な草地は、牧草地で卵を孵化する鳥類たちにとっての大切な生息空間としての効用をもたらしうる。

この簡単な特性だけからも、流水域が他の場所では決して見つけられないほどの、ある特殊な種に適応する生息空間として、大切であることが明らかになる。そのうえ自然に近い流水域は、種が伝播する帯としての役割を果たす。その伝播帯は、生物学的連鎖に関してはそれほど高い評価を受けるはずのない景域の内部にあるので、しばしば生態連鎖の中で、まさに“生態学上の背骨”の機能として言い表わされる。しかしこのこと以上に、流水域は景域に関わる諸要素の相互関係に関して重要な均衡空間であるとともに、とりわけ人間にとっては自然の恵みの源泉でもある。

今日現存する私たちの人為的な景域においては、自然の流水域はほとんど見られない。大半は流水域を利用する目的で、あるいは安全をはかる目的で、人類によって年月とともに次第につくりあげられてきたものである。生息空間の変化に伴って、生きものの共同体もまた必然的にその構成と密度の変貌を余儀なくされてきた。代償群落の形成と感受性の強い動植物種の消滅、つまり全生態系の変化が結末であった。

そのため、自然のままの場所や自然に近い場所での景観が総体的に貧化している現状においては、かつて改修された流水域を生態学的観点から保全をしたり改造したりすることが、よりいっそう重要性を増してくる。


代償群落としての牧草地があり、水辺がある自然流水域

それぞれの流水域は十分に個性的な生態系なので、流水域の中及び縁辺での生態学的改修事業の規格化は意味がないし、他のある種の特性をもたせるような統一化を、仮に私たちの水域景観に導入したとしても、それは州全体にわたる単なる規格化となるだけである。水域に本来伴うべきビオトープが欠けている場所では、ビオトープは補充されなけれ


水辺構造が支える多様な水の流れ


岸辺に連なる雑木林のある、自然状態に近い蛇行小河川



堤防の高さに余裕の少ない岸辺では、たびたび冠水する



ヤナギの灌木を用いた生態土木工法による岸辺の安全確保

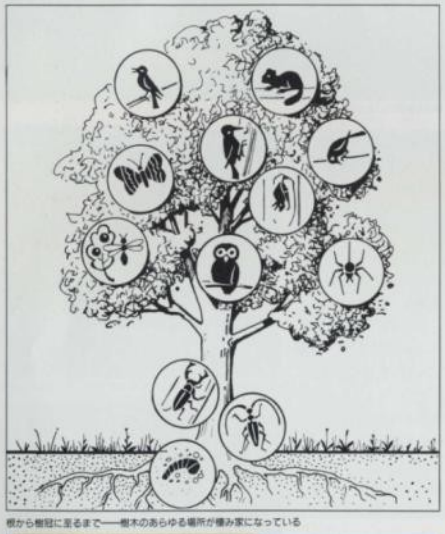
生息空間

樹木

たくましさ、悠久、やすらぎの象徴としての樹木は、文化伝統上確固たる地位を占めている。ますます景観の貧化が危機的に進行する状況の中で、自然のバランス能力を保全するという樹木の役割に関して今日特に評価されるのは、その環境形成作用である。一本の木は成木に達すると、多種多様な動物種がそこに棲みつき、あるいは少なくとも往来する独自の生息空間をつくりあげる。そのためビオトープのネットワークの中で、個々の樹木はいわば飛び石としての役割をする。

農村地域では、個々の樹木や樹木群は、道路の縁辺や農耕地境や放牧地など、それぞれなじんだ場所にある。とりわけ私たちの道路のイメージは、昔から樹木を伴ったものとしてつくりあげられてきた。樹木は道路交通の上で、視線を誘導することに役立ち、また運転手にはより優れた空間感覚と速度感覚を伝える。同時に樹木は、工学上の造形作品である道路と結合することによって、景観をつくりあげることに役立っている。生息空間としての樹木に関して、樹齢が重要であることは、その像をつくりあげる作用や生態学上の機能から特に明らかである。比較的高齢の樹木は、今日建設事業や道路交通及び道路維持（例えば凍結防止用塩の施用）の直接的影響ばかりでなく、一般的な環境の影響によっても脅されているので、特別な保護が必要である。たとえば地面の掘り起こし、盛土、切土、締め固め、根際の完全舗装化や根への損傷など、根張区域内での干渉に樹木が敏感に反応する場合は、道路の改修に際して、既存の街道樹を遠ざけ移動させるための、あらゆる可能性が検討されるべきであろう。すでに樹木に被害が及んでいるならば、樹木は多くの場合外科的方法により、救済が効果的に行われうる。極度に傷ついた樹木は、直ちに新しい樹木に植え代えるほうが意味がある場合もある。新しい歩道・自転車用道路を価値ある樹木の根張りの範囲外に（例えば反対車線の側に）移動できないならば、その建設作業は根を極めて大事に保護しつつ行われなければならない。その際水を浸透させない舗装工事はあきらめるべきである。

沿道の既存の樹木の保全や新たな樹木の植栽に際しては、交通安全上の利害とともに、生態学上の価値と景観を形成する作用が十分に比較検討されなければならない。樹木による事故を減らすために、新しい樹木は車線から十分な距離を保ち、道路に沿っているところではできるだけ保護柵あるいは前付植栽された灌木の後ろ側、または切土法面の比較的高い地点に植えつけられるべきである。



根から樹冠に至るまで――樹木のあらゆる場所が棲み家になっている



樹木を植栽する場合十分な広さ（地上・地下）が必要である



根張り区域の保護を考慮してつくられた自転車用道路



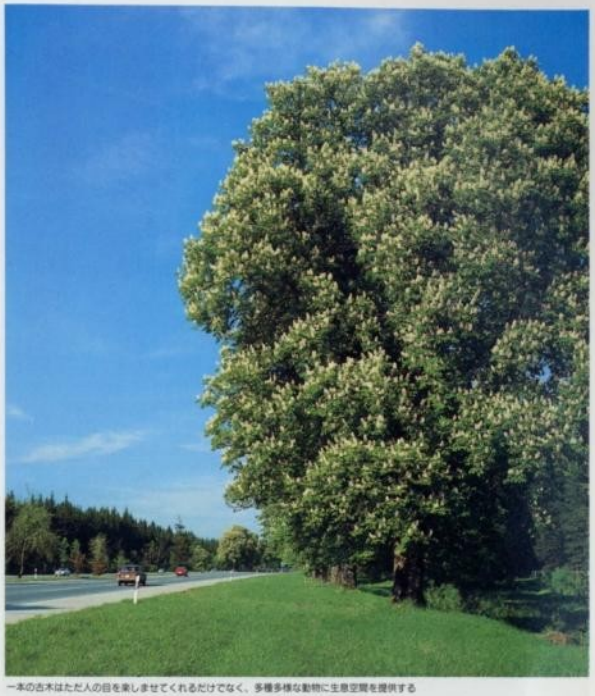
古木果樹にある穴や樹洞は多くの鳥類や甲虫類の生息空間となる



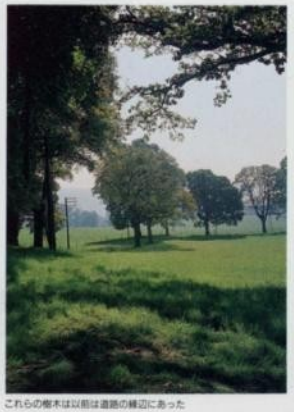
多くの枝を出し奥行き豊かな樹木には十分な場所が必要である



拡幅工事の際道路がすらしてつくられた



一本の古木はただ人の目を楽しませてくれるだけでなく、多種多様な動物に生息空間を提供する



これらの樹木は以前は道路の縁辺にあった



地衣類もまた生息空間としての樹木を拠り所にしている

- 因為有清楚的研究資料，例如，在某個 biotope, 某種鳥類在特定季節會產卵．於是政府便與農民簽訂合約，於這段時間停止某些活動以免干擾這些鳥類的產卵及孵卵活動 .

- 這類由地方政府進行的極細膩土地使用經營管理，其實是德國鄉村景觀，生態能永續發展的關鍵 .

棚田の生態

今泉忠明

いまいずみ・ただあき●ネコの博物館館長、日本ネコ科動物研究所所長。1944年東京都生まれ。67年東京水産大学卒業後、国立科学博物館特別研究生、富士自然動物園協会研究員などを経て現在に至る。専攻は小形哺乳類の分類学・生態学。著書に『アニマル・トラック』(イタチとテン)、『地球最滅動物記』、写真集に『イリオモテヤマネコ』などがある。

生態学的に棚田の頂点にいる動物はオタカやフクロウなどの猛禽類であり、それに次ぐのがアオダイショウやシマヘビなどのヘビ類である。そして第三の地位にいるのがモグラやジネズミなどの食虫類、それと大きなカエルだ。その下にいるのがアカネズミやカヤネズミなどの齧歯類であり、イネの葉を食ったりするバッタのたぐいも含まれる。棚田の生態ピラミッドの基盤はもちろんイネなどの植物である。単純にいえば、棚田の上には、「食ったり食われたり」の関係でつながった小さな草食動物→食虫類→小さな肉食動物→猛禽類といったような5段のピラミッドができているわけである。通常、生態ピラミッドは5段以上にはならないから、人工であるにせよ、ここが極めて安定した生態系であることがわかる。



◎オオタカ



◎シマヘビ



◎ハタネズミ

この中で、いなくてもいいと思われるほどの嫌われ者はモグラだろう。畦を壊すからだ。そんなモグラを調査にいくと、農家の方からはとても喜ばれる。何十匹でも獲っていってくれ、という。だが、モグラとて捕まえるとなると一筋縄ではいかない。彼らは地中のトンネル・ネットワークの地理を覚えているのだ。両方向、どちらから入り込んでも入り口が閉まる筒型の罠をかけ、畦に積み上げた堆肥の下で手に入れたカブトムシの幼虫を餌にして獲ろうとしたことがある。ところがモグラは、餌だけ食べて、両方の出入り口を土で塞ぐ。順序としてはまず一方に土を入れながら中の幼虫を食べて塞ぎ、次にグルリと回って反対側を塞ぐのである。

そんなモグラの知恵に負けたくなく、罠のそばで見張った。初夏の畦で、スクスクと育つ稲を眺め、水面を渡るそよ風を頬に受け、さんさんと照りつける日の光を浴びていると、次第に体が横になってくる。水田を横になって眺めていると、これまた違った風景となる。水田でオタマジャクシやメダカが群れをなし、コオイムシが卵を背につけてせわしげに泳いでいくのが目の前で見えるし、若い稲の間をシマヘビが泳いでいくのにも気づく。豊かなのである。

悪名高いモグラだが、水の落ちた時期にはせっせと土を耕しているから、ピラミッド形成の一員であるし、その罪は軽減されるべきだろう。

棚田の自然

小西正泰

棚田は日本では「神への階段」と親しまれ、バリ島では「耕して天に至る」といわれる。傾斜地につくられたミニ水田の集団であり、自然に刻み込まれた芸術作品といってよい。

江戸前期の俳人、松尾芭蕉は「此ほたる田ごとの月にくらべみん」と瀬田（滋賀県）のホタルを、有名な姨捨山（長野県）の棚田の一つ一つに映る中秋の名月を連想して詠んでいる。

ところで、棚田はビオトープ（野生生物の生息環境）として水、水稲および畦から成る。そこには多様な動植物が生活している。水生昆虫でいうと、甲虫ではミズスマシ類、ゲンゴロウ類、ガムシ類、イネミズゾウムシ（米国からの侵入害虫）など、水生カメムシ類ではアメンボ類、コオイムシ、タイコウチ、ミズカマキリ、マツモムシなどがいる。ところによってはホタルやタガメ（希少種）が見られることもある。またトンボ類の幼虫（ヤゴ）もいる。これらの水生昆虫は、ガムシ類やイネミズゾウムシを除いてすべて肉食性だから、それらの餌になる昆虫など小動物の存在も必要条件になる。

一方、水稲にはウンカ・ヨコバイ類、カメムシ類など吸汁性昆虫やメイガ類、ハムシ類、ゾウムシ類のような食植性昆虫など多くの害虫のほか、これらを捕食したり寄生したりする種類もいる。

棚田にはおよそ二〇〇種の昆虫が棲むといわれる。これらがたがいに住み分けたり、食ったり食われたりして、植生は単純だが、けっこう複雑な生態系を構成している。なお、西日本の棚田の畦にはヒガンバナの群落が多く、秋の開花時には風物詩となる。

新潟県は米どころだけあって、各地に著名な棚田があり、いろいろなイベントがおこなわれている。たとえば、平成一〇年には東頸城郡安塚町では第四回「全国棚田（千枚田）サミット」（九月）、同郡松之山町では「ホタル観察と棚田草刈り体験ツアー」（七月）などが開催された。そのほか、県南では板倉町や十日町地区などの棚田もよく知られる。棚田は景観や保水などのほかに、ビオトープとしても重要な役割をはたしている。後世に是非とも伝えたい文化遺産である。それには行政の支援および一般市民のボランティア活動が欠かせないと思う。

こにし・まさやす●農学博士。1927年兵庫県生まれ。北海道大学大学院農学研究科修了。北興化学工業・技術顧問、東京ホタル会議議長、日本ホタルの会理事などを務める。著書に『虫の文化誌』（共に朝日新聞社）、『昆虫の本棚』（八坂書房）ほか多数。訳書に『歴史を変えた昆虫たち』（思索社）、『昆虫大全』（白揚社）ほか多数。



◎ミズカマキリ



◎コオイムシ



イラスト／平野めぐみ

準則 4. 追求大量的謬誤

毀滅特色的開發行動

- 綠島的故事
- 花博的故事
- 清境的故事
- 燈會的故事

藍海策略

相對於現有且飽合的「紅海」市場競爭空間，**「藍海」所指的是：**

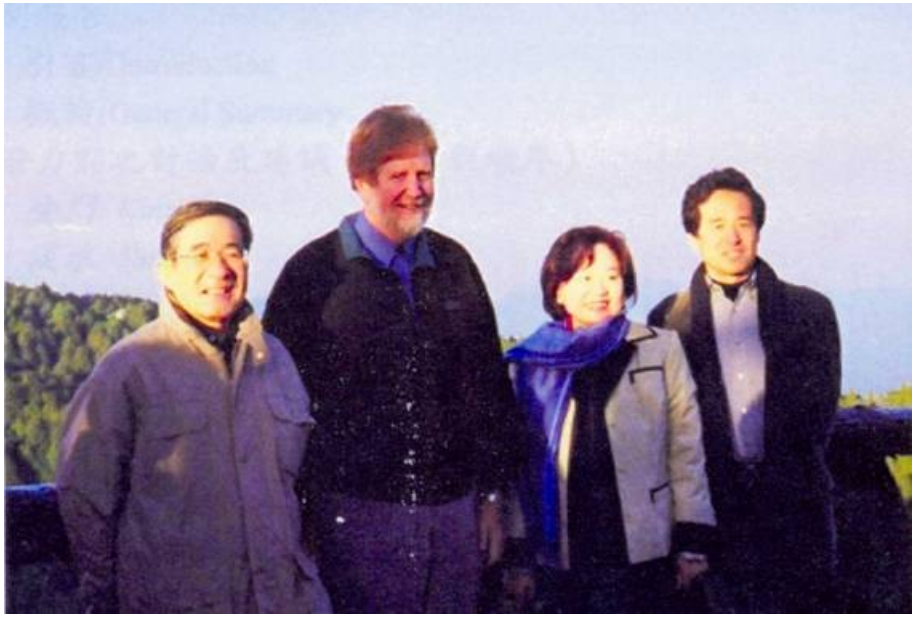
- 創新的市場
- 跳出現有市場框架，創造新的市場空間
- 因為創新，使得「藍海」市場無所謂競爭，競爭並沒有意義。

準則 5. 追求品質與卓越

- 品質是不可妥協的目標
- 國家風景區應是國內景觀品質管理之標竿
- 每一個關鍵性的決策均應堅持品質
- 台灣風景區之規畫設計與經營，均應與世界先進國家之標準接軌
- 調查，規畫，地景，建築設計，施工，出版品等等，均應追求品質與卓越

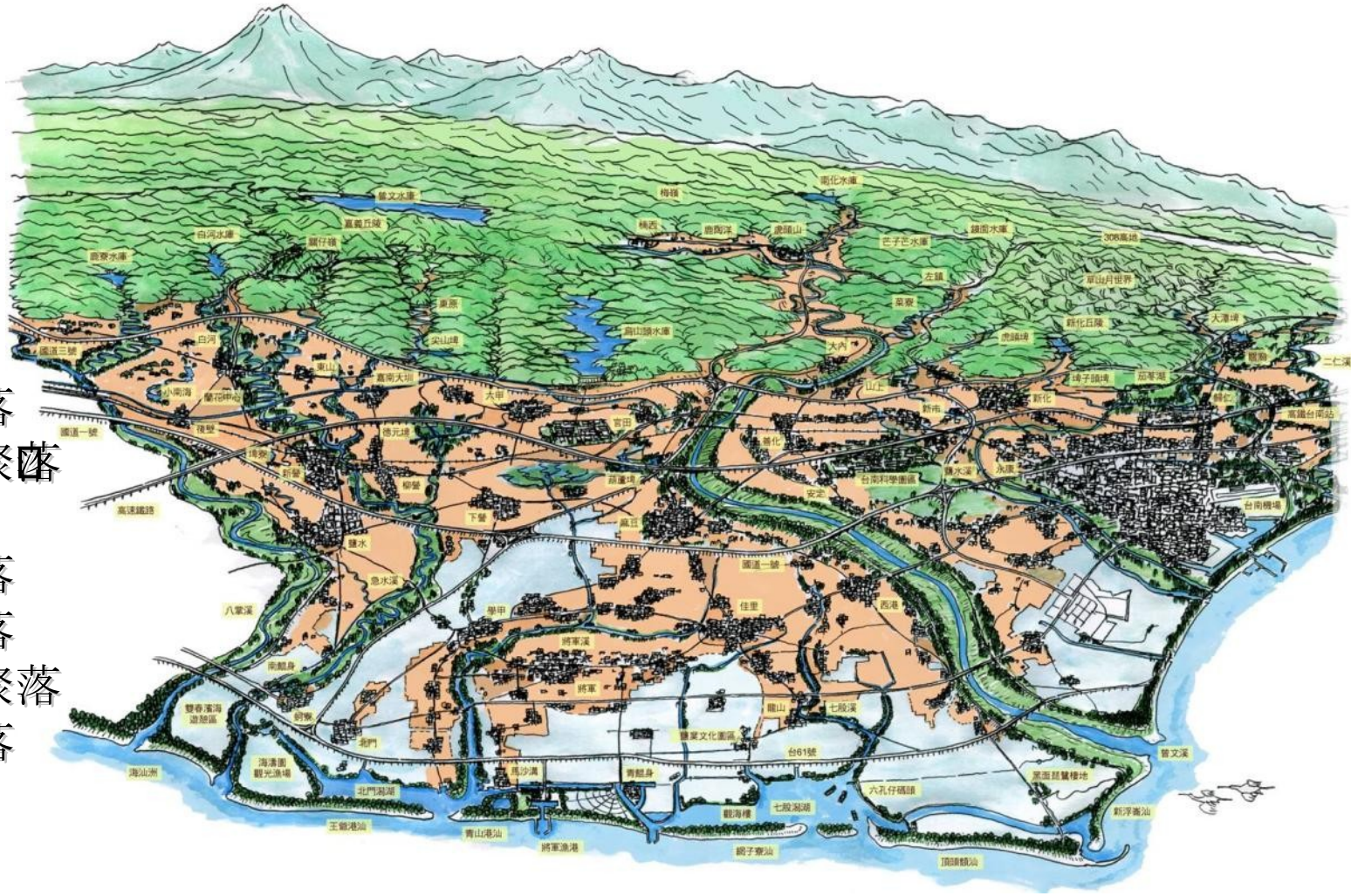
阿里山之台灣世界遺產評估

- 文建會於 91 年 12 月委託西村幸夫等三位專家評估。
- 初步結論認為阿里山森林鐵路之價值可能符合世界文化遺產評估基準二及基準四，具備鐵道工程設計區域性及世界性之代表性地位。



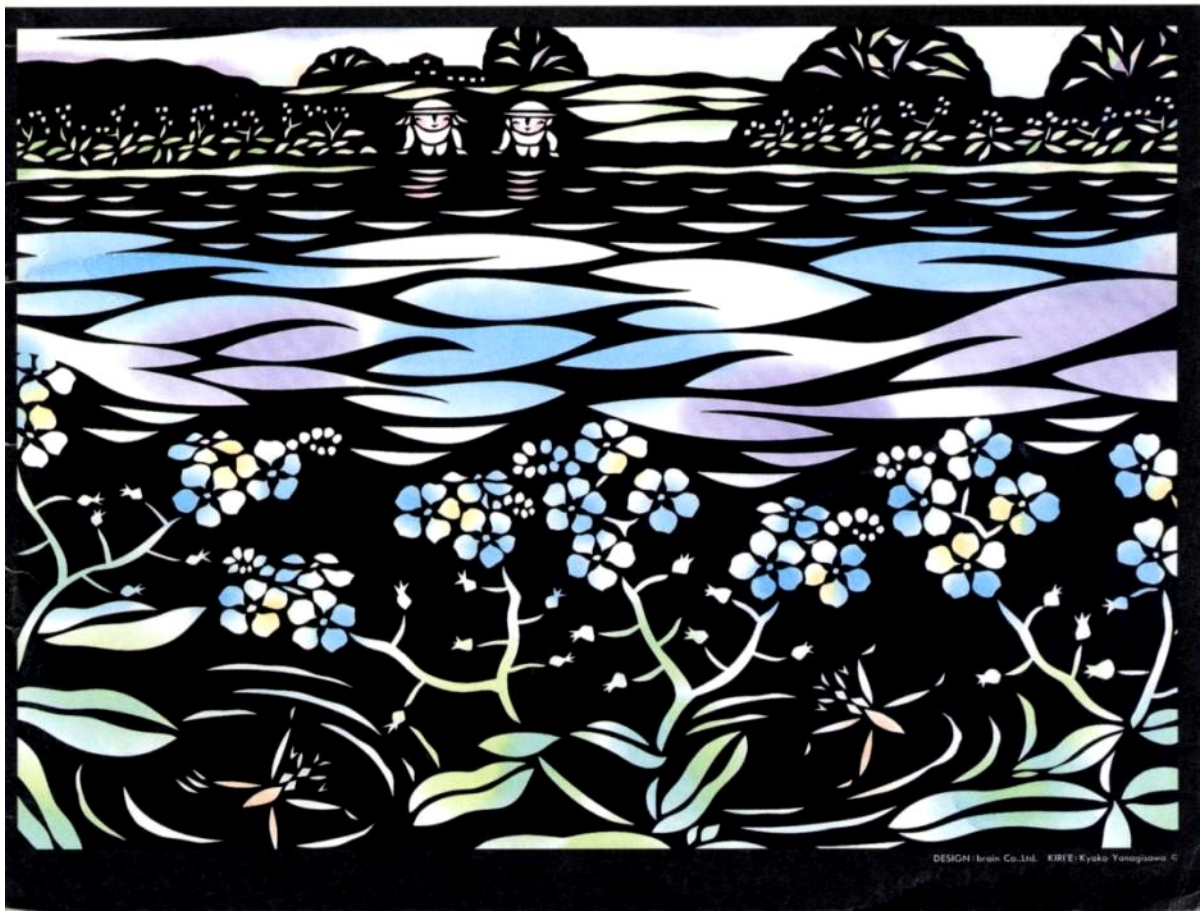
準則 6. 空間感，空間美學的重要性

- 漁村
- 低濕地聚落
- 平原水□ 聚落
- 都市近郊
- 近山區聚落
- 丘陵地聚落
- 谷間盆地聚落
- 山間地聚落



美しく豊かな農村環境づくり

社団法人農村環境整備センター



子供の頃に魚取りをした小川。

かぶと虫を探した雑木林。

夕暮れに歩いたあぜ道。

私たちは、

こうした農村の「こころ」を

大切にしたい。

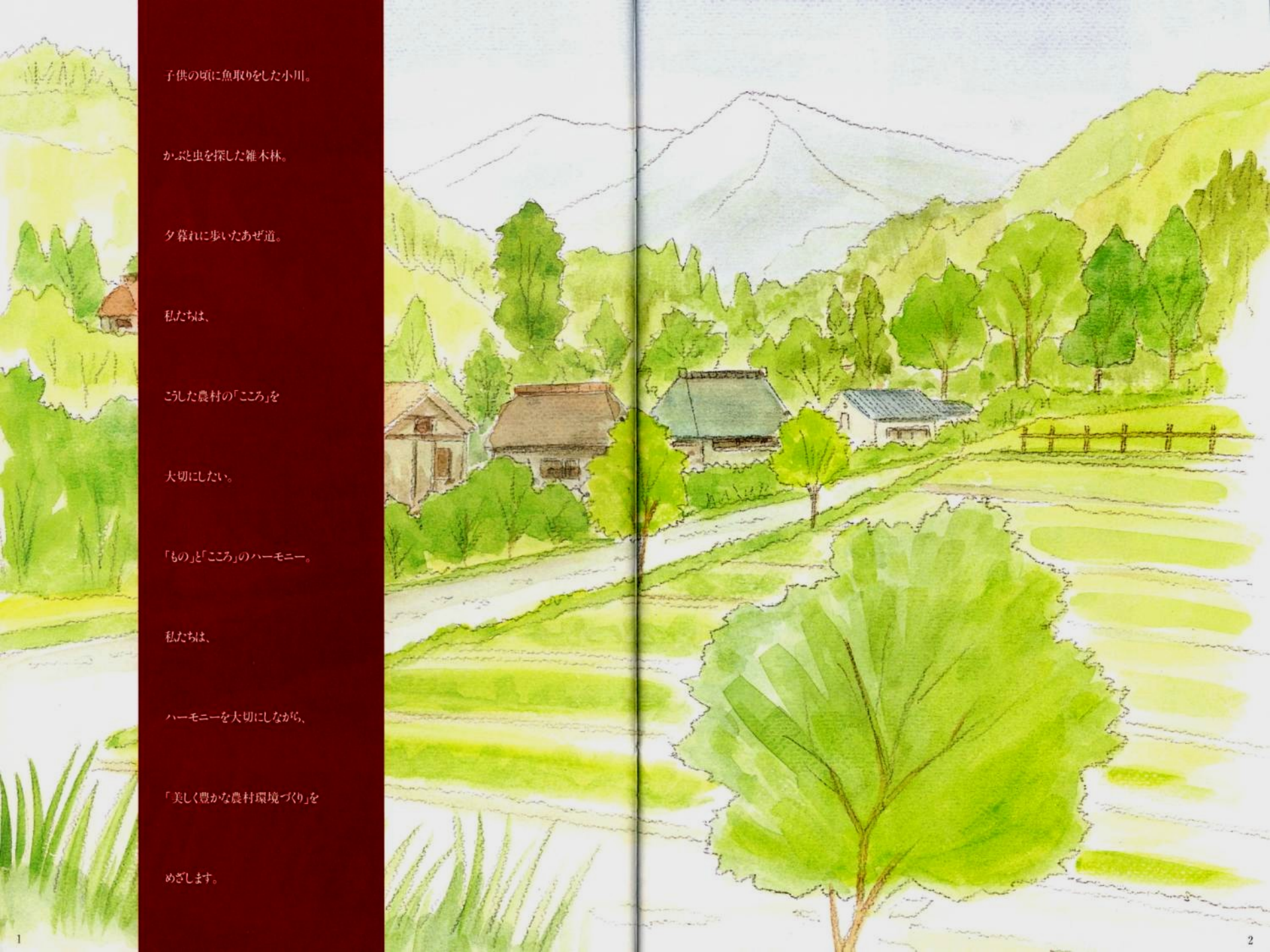
「もの」と「こころ」のハーモニー。

私たちは、

ハーモニーを大切にしながら、

「美しく豊かな農村環境づくり」を

めざします。



快適な農村環境づくりの実践
地域文化の継承
宮城県岩出山町 内川周辺

岩出山は、歴史と文化の香りがする落ちついた風情の町。この町を誇らしげに流れる内川は、伊達政宗によって開削されて以来400有余年の歴史ある水路です。国営かんがい排水事業では、次第に老朽化してきた内川を改修する計画があります。そこで岩出山町の有志が「内川を考える会」を結成し、水路周辺の景観保全に取り組んできました。国、県、岩出山町はこの動きを積極的に支援し、改修計画プロジェクトチームが結成されるなど、国営かんがい排水事業、県営水環境整備事業によって、内川の改修と周辺の景観整備が推進されることになりました。地域住民と行政が"一体となり"まちおこし"を展開している事例といえるでしょう。



◆400年以上にわたり農業用水路として水田を潤してきた内川。今ではまちの顔となり、町民にとって生活の礎にもなっている。

水環境整備事業による整備内容
- ○内川本川・支川の修景護岸
- ○遊歩道、橋上広場、遊水施設、安全施設、照明施設、植生造園の整備



伊達政宗がつくりし歴史ある景観を守りたい。



地域住民と行政が一体となった整備事業の推進！

快適な農村環境づくりの実践
地域資源（自然）の活用
宮崎県小林市　出ノ山周辺

霧島北麓に沿って、えびの市～小林市～高原町に至るゾーンは、県の「ハイランドパーク構想」の対象地域です。このゾーンに沿って、霧島北部広域農道（みやきりしまロード）の整備が進行中です。水環境整備としては、マクロレベルの親水ゾーンを設定し、この親水ゾーンを軸に、農業、観光、レクリエーションに関する整備を進め、小林市のウォーターネットワークを形成していきます。また「水のマチ、小林」の最大の拠点である出ノ山周辺では、「みずとみどりのまちづくり」を積極的に推し進め、ゲンジボタルやコイ、ワカサギ、タニシなどの生物にやさしい環境づくりをめざしています。



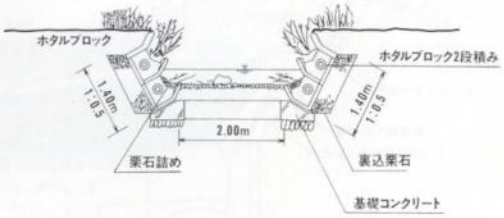
生き物にやさしい環境づくりを、積極的に推進したい。

◆出ノ山池の水源池に自然石を積み上げ、湧水を滝のように流下させる。



豊富な遊水を生かし、ホタル水路を設置！

◆出ノ山池下流の水路にホタル水路を設置し、またその周辺を公園として整備する。



◆ホタル水路断面図

快適な農村環境づくりの実践
地域文化の継承
滋賀県虎姫町／日野町／高月町

滋賀県虎姫町の多目的集会施設は、人々のコミュニケーションの場として活用され、農事に関する話し合いや料理講習会などに幅広く利用されています。日野町の集会施設は、付近の農村風景にマッチした純和風の建築で、施設としての目的を果たすだけでなく、景観にも配慮したものとなっています。高月町では、集落内の用排水として従来より利用していた水路を整備することにより、環境が整ってたばかりでなく、人々の憩いの場としても利用され親しまれています。また集落内排水路改修工事によって発生した残地を活用し、色彩とアクセントを加えることによって、親しみのあるコミュニケーションの場が復活しました。



◆高月町 高月地区の水路
地域の人々の語らいの場として、生活空間の一部となっています。



◆虎姫町 虎姫西部地区の集会施設
伝統的な獅子舞で、集会施設の完成を祝いました。

地域の人々のふれあいの場を大切にしたい。

暮らしに根づいたコミュニケーション施設の充実！

◆日野町 蔵王地区の集会施設
周辺の風景と調和する落ちついた造りの建物です。

7. 時間感與歷史感

- 地點的歷史調查，古蹟保存
- 一年四季，節氣變化
- 節慶及年間行事曆
- 傳統工匠的重要性，點工叫料的經驗

文化を運んだ舟運



丸大扇屋
今から30
商家で、最
重厚な美し
そして水と
かな空間に
●文教の



菅原白龍画

水のある景観





江戸中期、元禄の頃より最上川の舟運が盛んになり米沢藩の表玄関として藩内屈指の商業都市に成長していきました。
長い時を経た今でも陣屋や蔵が数多く残されております。貴重な文化遺産を再発見し、再生する美しい景観づくりの輪が広がり始めています。





水 SELECT - ❶ water

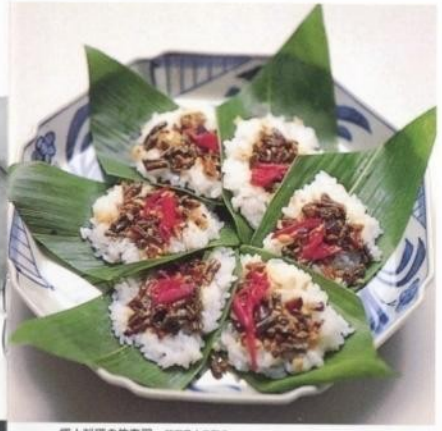
清らかな水が育む



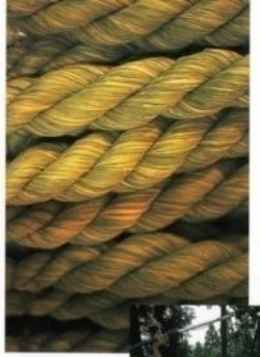
地酒
朝日連峰を源とする松川・白川の合流点であり最上川の始発点でもある長井市。豊富で清冽な水と、地元産の優良な米を使い、精米から手間暇かけてじっくり仕上げられた手作り地酒が楽しめる。







郷土料理の笹寿司　新潟県十日町市

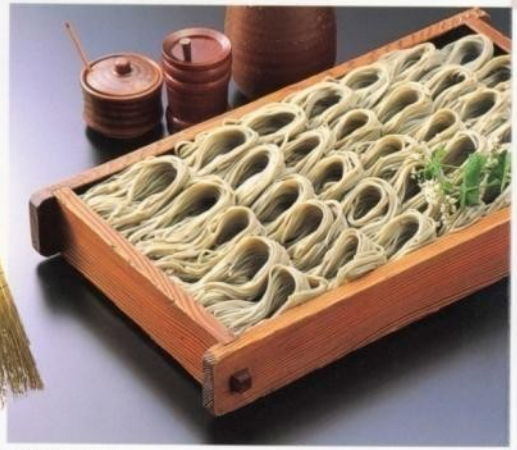




狐の夜祭り　新潟県高柳町



かがり火
新潟県十日町市



へぎそば　新潟県各地域



小正月行事の鳥追い
新潟県小千谷市



棚田の伝統文化と神事

小田孝治

土佐の高知は須崎から国道197号線をひた走って山間部へと入る。やがて人家が山にへばりつくように建ち、斜面に狭い棚田が続く。山あいをぬうように上りながら車が急カーブを切ると、そこは高知県檮原町だった。めざす千枚田は風早トンネルの真上にあった。

息を呑むような光景が頭上に広がっていた。七十枚、百枚、二百枚…の田が、畳を敷きつめたように急斜面の頭上付近まで続いている。かつては六百枚以上もあったというが、いまは二百数十枚。それでも、よくぞ残してくれたと思う。

頭上近くになると、一枚当たりの面積が十数平方メートルと狭くなる。なぜ、こうまでして田を築かなければならなかったか。檮原は山林面積が九割を超える。木の需要が少なかった昔は、農業に頼らなくてはならなかった。田畑をつくることは命にかかわる大事だったのだろう。

まだ田に水が入る前だったが、思わず手を合わせたくなるほど千枚田は美しい。このあたりは、その名も檮原町神在居（かんざい）といって、まさに神様が見守っているという実感がわいてくる。稲にまつわる神事は古来伝わっているが、とりわけ棚田にあっては、祭られる神様は村人にとって切実だった。現に棚田の真ん中に神様を祭ってある所があるし、神在居には若宮神社がある。過疎の町ながら、秋祭りには総出で神様をお迎えするという。

この千枚田に今年、「新入り」が加わった。大阪の鉄工所を定年退職した門田恒隆さん、すみ子さん夫妻が帰郷して、三十年ぶりに田植えをするという。門田さんは「じいさんが苦労してこの上の田圃を築きました。この水路も石で作ったんですよ。狭くて効率が悪いから機械も入らない。昔はどこの家でも牛を飼育してたもんです」という。しかし、夫妻は底抜けに明るい。ご先祖の土地に帰ってきて、田を守るという満足感。それが伝統文化の伝承だろう。

一枚一枚の田は、砕いた石を積み上げて作った城塞のような石垣で守られている。いまも檮原にとどまっている人の多くは、「苦労して築いた父祖の地を離れるわけにはいかない」という思いを強く抱いている。古老に聞くと、檮原九か村には、それぞれ石積みの名人がいたという。がんじょうに石垣として築くことのできた石工が村人の尊敬を集めたことは想像に難くない。台風にも負けない石垣は、暮らしに直結する。

だが、新潟の多くの棚田は土で畦を築いている。大雪、大雨、台風などで崩れるたびに、補強しながら守ってきた。しかも、狭い棚田には現在も耕運機などの機械が入り込む余地は少ない。ここに注がれた先人たちの途方もない労力に頭が下がるばかりである。

美しい棚田の景観は、人間と自然との見事な共生の証しであり、暮らしに根差した誇るべき伝統文化である。

おだ・たかじ●産経新聞編集委員。1941年東京都生まれ。65年上智大学法学部卒業後、産経新聞社会部（大阪）、夕刊フジ報道部、産経新聞文化部長などを経て現在に至る。著書に「ときめく美」などがある。

祭りとTV、そして……

戦災で日本の村やまちは多くのものを失いました。祭り用具の神輿・太鼓・山車・笛なども消失、四散したのです。

戦後の復興で祭りは少しずつ盛んになり、祭り用具の需要が少しずつ増えていきます。需要が急増するのは高度成長期を迎えた1955（昭和30）年ごろからで、TVが全国に普及したことが原因なのです。

NHKの地方をめぐって行われる、のど自慢で歌われる民謡や取材された祭りの姿がブームの始まりです。そこには地方特有の顔があり、全国に放映されるTVが各地の祭りを再興し、用具の購入を促すはずみになりました。TVに出ている人々の微笑と明るさが、忘れていた各地の祭りや民謡を沸きあげる力となったのでしょう。

65年ごろになると離島ブームや観光ブームが起こり、祭りが地域の伝統的な顔として再びPRされるようになります。この流れはしだいに地域起こしの産業誘致や博物館づくりと底流では結びついていき、祭りはイベントとしてもまちづくりの計画の大切な要素になったのです。

こうして祭り道具や和楽器・提灯・祭り装束のハッピなどの需要が寺社や氏子だけでなく自治体や同好会などに広がっていくのです。

加えて佐渡の鬼太鼓座（現・鼓童）のように太鼓や和楽器を創作活動の対象とする集団が新たに起こり、地方の伝統的行事や祭りを見直すようになるのです。各地に太鼓や和楽器グループが発生し、これも全国の祭りと結びついていくのです。

都市では親子で参加する祭りが盛んになると、子供用の山車や神輿などが町内会・自治会単位で購入され、地域に定着するはずみになっていくのです。祭りの手法は学校や会社の運動会でも活用されはじめ、祭り用具のリース業も商売になってきたのです。

祭りの踊り手や神輿の担ぎ手となって各地の祭りを自由に参加してまわる同好会・連・講中といった若い人たちのグループの結成があいつぎます。そして、和楽器と一緒に揃いのハッピや浴衣の注文が祭りとともに増大していきました。

祭りはいいもんだと思う日本人が増えてくると、地域の祭りも他と競いあい、祭り用具もより大きく美しいものを求めるようになり、祭りもしだいに大規模なものになっていったのです。

こうして日本の祭りは復活しました。

始まりには戦災によって喪失したまちの復活の願いがこめられていたわけですが、次の時代には根底にあった伝統的文化の継承の意味が浮かびあがったのです。

さらには祭りや芸能が体育、創造活動や人づくり・人集めの手法として採用され、成果がPRされることが多くなると、しだいにまち起こし・まちづくりの対象としての祭りが有効で不可欠な方法となっていったのです。

現在の日本は地方では過疎化し、都市には人口が集中し、新しく流入した住民も含めて近代化によって変容したまちを再統合する必要性が生まれてきたため、地方でも都市でも新しい祭りが多くなったのです。

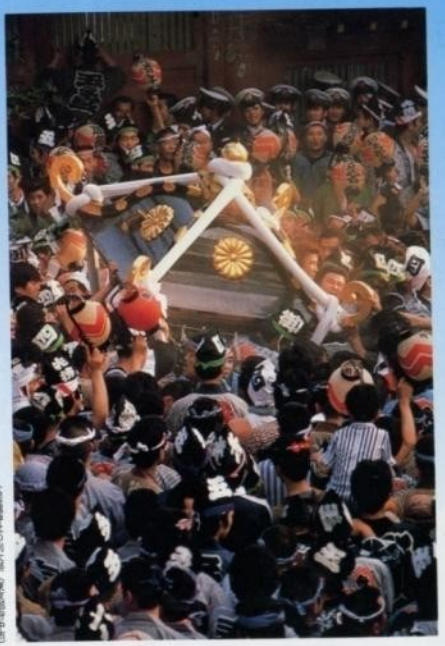
商業祭からスタートした仙台の七夕祭は、各地商店街のイベントのモデルとなり神奈川平塚やその他の各地に波及していきます。東京高円寺の阿波踊りも同じことだったのです。

武蔵府中の大国魂神社の祭り、巣鴨のとげぬき地蔵の縁日などは伝統的な祭りが都市化によって衣替えして、さらに盛んになったものです。近年始まった浅草サンバカーニバルなどは日本の祭り好き・踊り好きが再開発の視点で国際化しようとしたものです。

日本の村やまちは戦後の半世紀のあいだに近代的な生活を生み出し、祭りの装いをもって新しい日本に向け、まちづくりをすすめてきたのですが、これほどまでに日本の生活文化が変容していくとはだれもが考えていなかったわけです。

日本はいままで経験したことのない人口集中、あるいは過疎、少産少死、高学歴、そして高齢化社会といった諸問題をかかえたのです。これらは世界的にみてもこれまでになかった問題で、先行する事例はきわめて少なく、戦後の近代化とその生活文化の実態的モデルは日本か韓国にしかないのです。

祭りは地域だけでなく広く国際的に人々が出会い交流することができる統合性のある手法です。しかも文化的であり、かつ創造的な手法です。こう考えると祭りは広い意味で近代日本の生活文化のありかたを提示できる最後の手段かもしれません。



大国魂神社の例大祭（東京都府中市）



鎮魂すり
神社祭礼のなかで2人の神官によって行われる儀式。羽田沖から汲んできた潮水とわらで鏡を磨く。時間にして30〜40分で終わる



道清め





駒競べ送り込み



品川潮汲み

大国魂神社の祭り行列
祭りの大半は、基本的には「願い祈る」「巡回する」「賑わや市、催し物を楽しむ」の3つの場面で構成されています。なかでも「巡回する」場面である行列がもっともわかりやすく、祭りの特色が際立って表現されているものです。そこで伝統的な祭りの例として、大国魂神社の祭り行列をここに再現しました

準則 8. 深度之旅，知性之旅



準則 9. 體驗的重要性

觀光旅遊的核心內容

- 最高品質的經驗，無法磨滅的記憶
- 知性的內容，感性的經驗
- 五感的體驗，視覺，聽覺，味覺，嗅覺，觸覺
- 高品質的時間
- 親切，誠懇的人際接觸
- 深刻的意義與感動

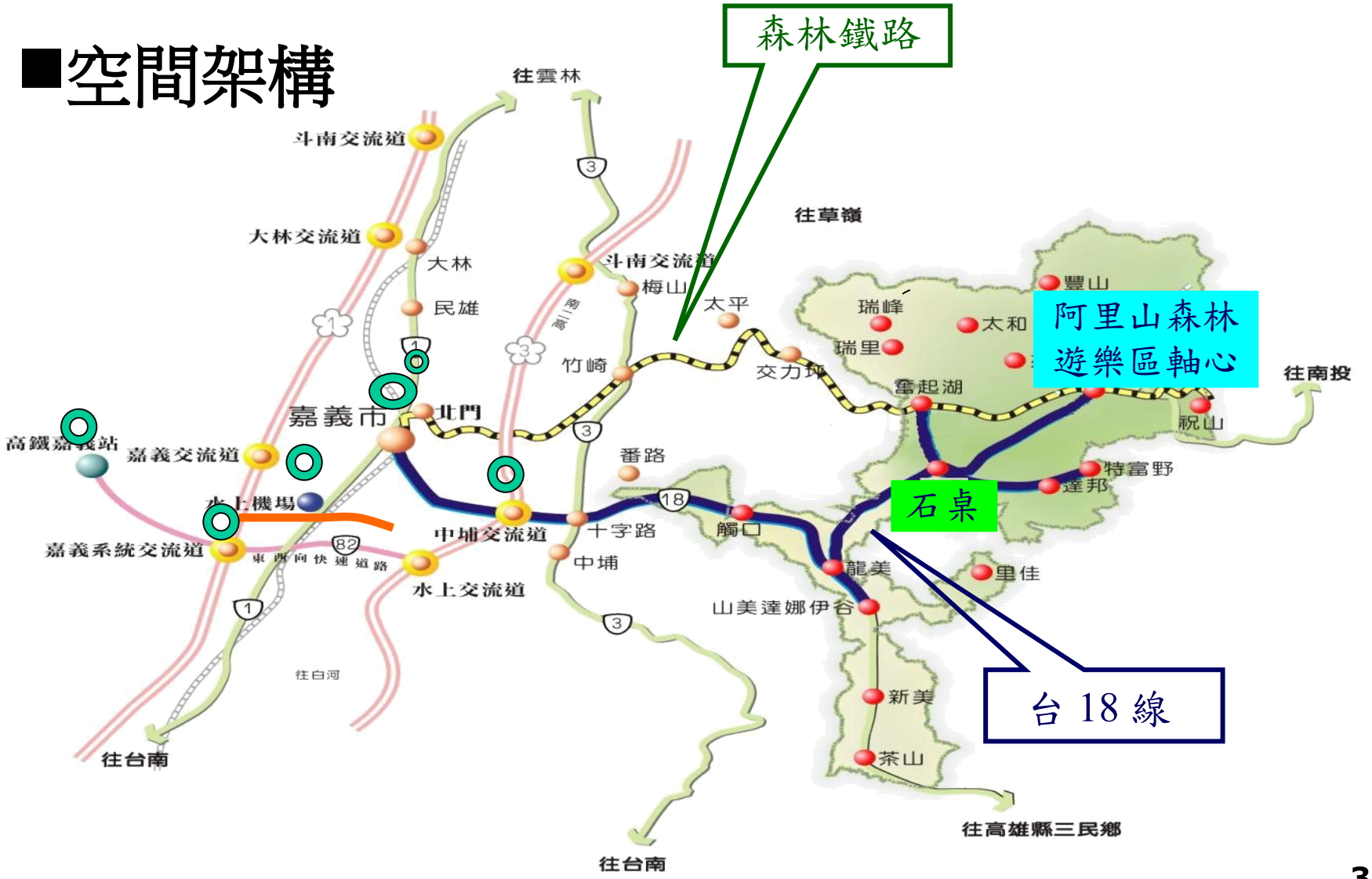
準則 10. 幕之內餐盒的啟發 - 套裝旅遊路線

■經驗的構成



阿里山旅遊線之架構

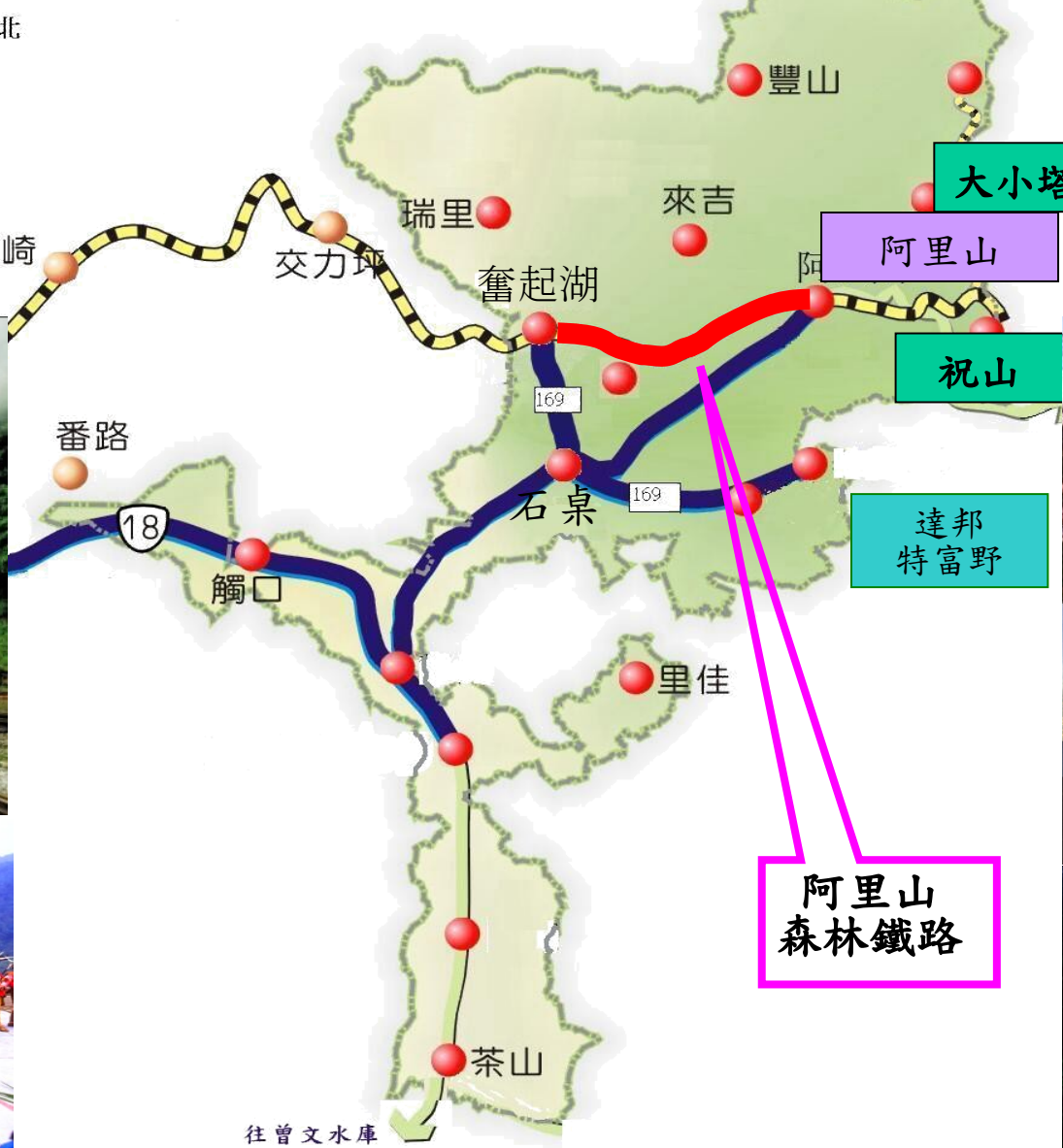
■空間架構



■阿里山旅遊線國際魅力景點









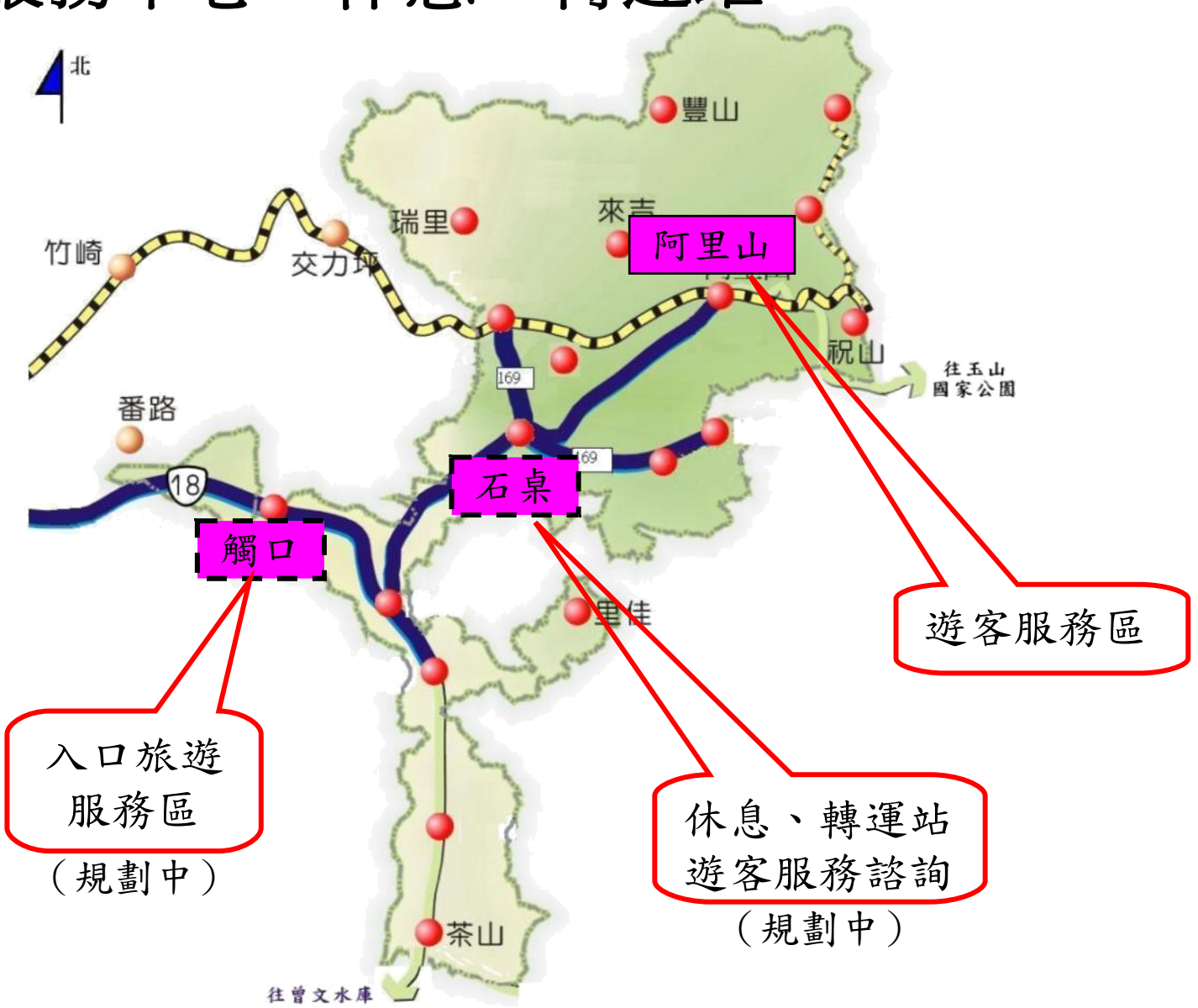




■森林遊樂區軸心


賞櫻、森林浴
山城
懷舊體驗
石猴
阿里山國家
森林遊樂區
奮起湖
祝山
紅檜神木
觀賞紅檜神木、
享受森林浴
賞遊壯闊塔山
及一葉蘭生態
保護區
高山茶產製
體驗及美食饗宴
觀賞日出、晚霞、
雲海、享受森林浴
豐山
瑞峰
瑞里
太和
大塔山
往南投
竹崎
交力
番路
18
169
169
觸口
里佳
茶山
往高雄縣三民鄉
北

■旅遊服務中心、休息、轉運站



■住宿、用餐地點


北
斗南交流道
南二高
3
竹崎
交力坪
北門
番路
18
中埔交流道
十字路
觸口
水上交流道
山美、茶山
特色民宿
山美達娜伊谷
龍美
里佳
新美
茶山
往曾文水庫
瑞峰
瑞里
太
豐山
阿里山
旅館區
來吉
阿里山
奮起湖
祝山
169
石桌
國際觀光旅館
達邦、特富野
特色民宿
達邦

準則 11. 故事 - 經營一切的劇本

故事 1. 德國史瓦比山谷的羊群

- 長約 200 公里，位於德國西南部符騰堡州及巴伐利亞州邊界的幾個河谷，有許多漂亮的聚落，農村，以及一個有數百年歷史的牧羊產業 .

- 地區內的牧羊方式依季節逐水草而居 . 這個牧羊傳統，以及其放牧的遷徙路線，形成了這個地區的產業與文化基礎，甚至與當地的地景，植栽形成共生體系

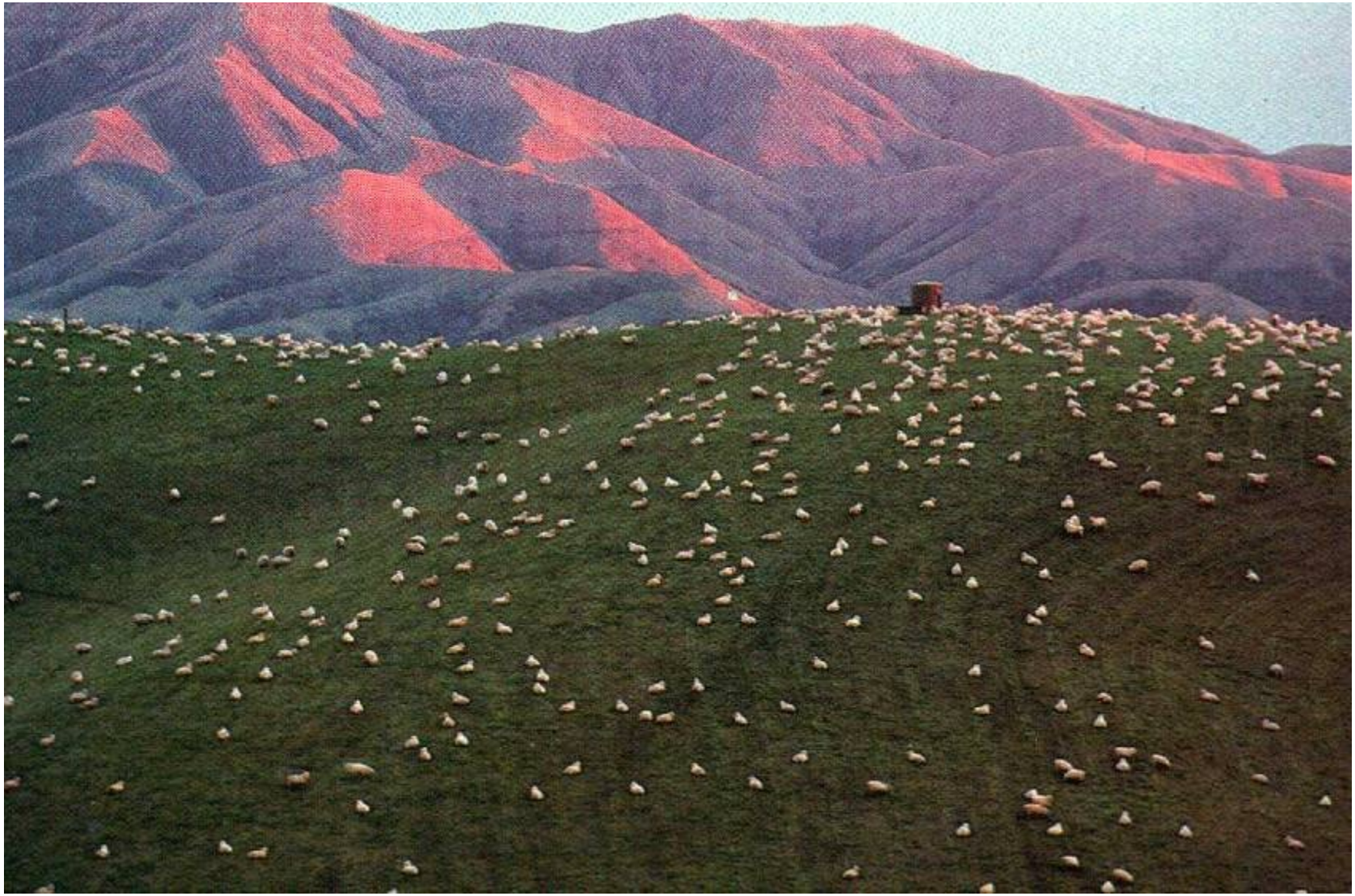


- 這個地區最令人心曠神怡的，是位於海拔 1000 公尺，由平緩的山脊，山坡和丘陵以及山毛櫸森林構成的史瓦比山谷景觀 .

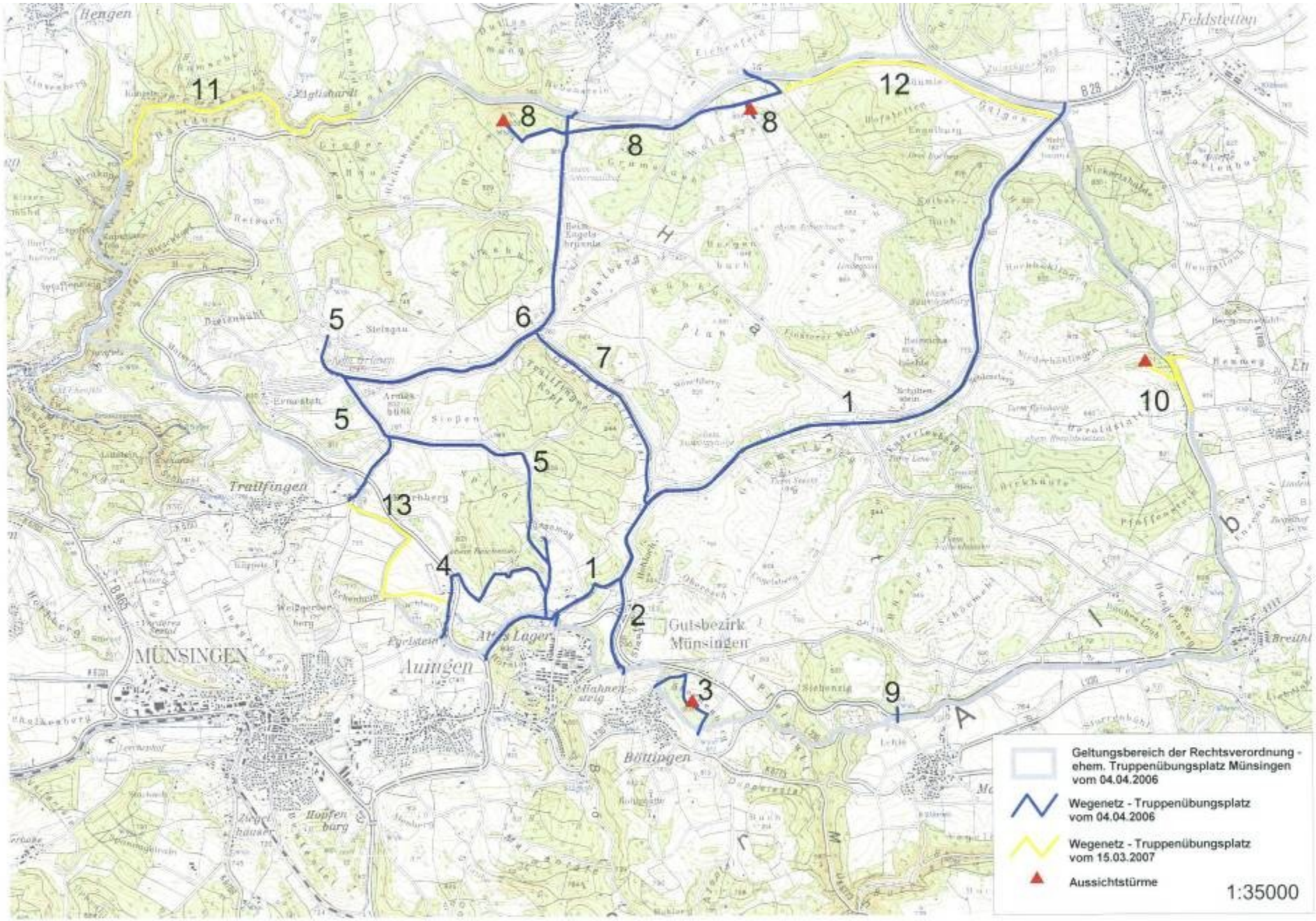
- 這裡是典型的德國山區農村景觀，視野遼闊，半木結構的德國傳統農舍散布其中．未受破壞的風景，到處可以發現種類繁多的珍稀動植物和自然美麗的登山步道，是徒步旅行者和大自然愛好者

- 這個地區，有幾百年的牧羊歷史．牧羊人隨著季節，追逐牧草成長而遷徙放牧．
-
- 在史瓦比山谷中，有好幾條交錯長達百公里的游牧路徑．這些路徑與牧羊人的設施，已經成為這一個地區的重要文化資產．

Neuseeland :
Günstige Standortverhältnisse für die Schafhaltung






Hengen
Feldstetten
Trailfingen
MÜNSINGEN
Auingen
Gutsbezirk Münsingen
Böttingen
11
12
8
8
8
5
6
7
1
10
5
5
13
4
1
2
3
9
Geltungsbereich der Rechtsverordnung - ehem. Truppenübungsplatz Münsingen vom 04.04.2006
Wegenetz - Truppenübungsplatz vom 04.04.2006
Wegenetz - Truppenübungsplatz vom 15.03.2007
Aussichtstürme
1:35000

- 史瓦比本地產的羊肉，在價格上無法與進口羊肉競爭，尤其是澳洲羊肉，價格是本地羊肉的七分之一．

- 但史瓦比的地方人士卻堅持要保護在地的畜牧業．他們發現歷史悠久的牧羊產業，與在地的生活型態與歷史文化密不可分，連史瓦比山谷的生態與景觀，也與牧羊產業息息相關．









- 透過德國的法定地景規劃，德國的土地都經過非常仔細的調查．調查發現羊群在游牧路徑上遷徙，扮演著運送當地各種植物種子的角色．羊身上不同的部位，會附著不同的草種．

- 史瓦比山谷中的植物分佈，與羊群的遊牧路徑，形成了相互依存的共生關係．牧羊產業衰落，羊群的頭數減少，山谷內的生態平衡就發生改變，景觀也跟著發生明顯的變化．

Landschaftspflege mit Biss

…und viele andere kreative Projekte…



- 基於文化，生態及景觀的理由，當地政府及民眾，都認同必須全力保存山谷內的牧羊產業 .

- 他們以牧羊文化為榮，願意消費貴好幾倍的羊肉 . 開發以在地羊肉為主的美食，發展與牧羊路徑有關的深度旅遊 .
- 他們運用創意，把這個產業的產品，發展成各種有附加價值的商品，並且成為觀光發展的重要主題 .





> *Guten Appetit* <

REGIONEN AKTIV

Land gestaltet Zukunft

im Landkreis Reutlingen

Nationaler GeoPark Schwäbische Alb



haftung

MaB

schaft

MIT UNTERSTÜTZUNG DER

UNESCO



Produktwerbung

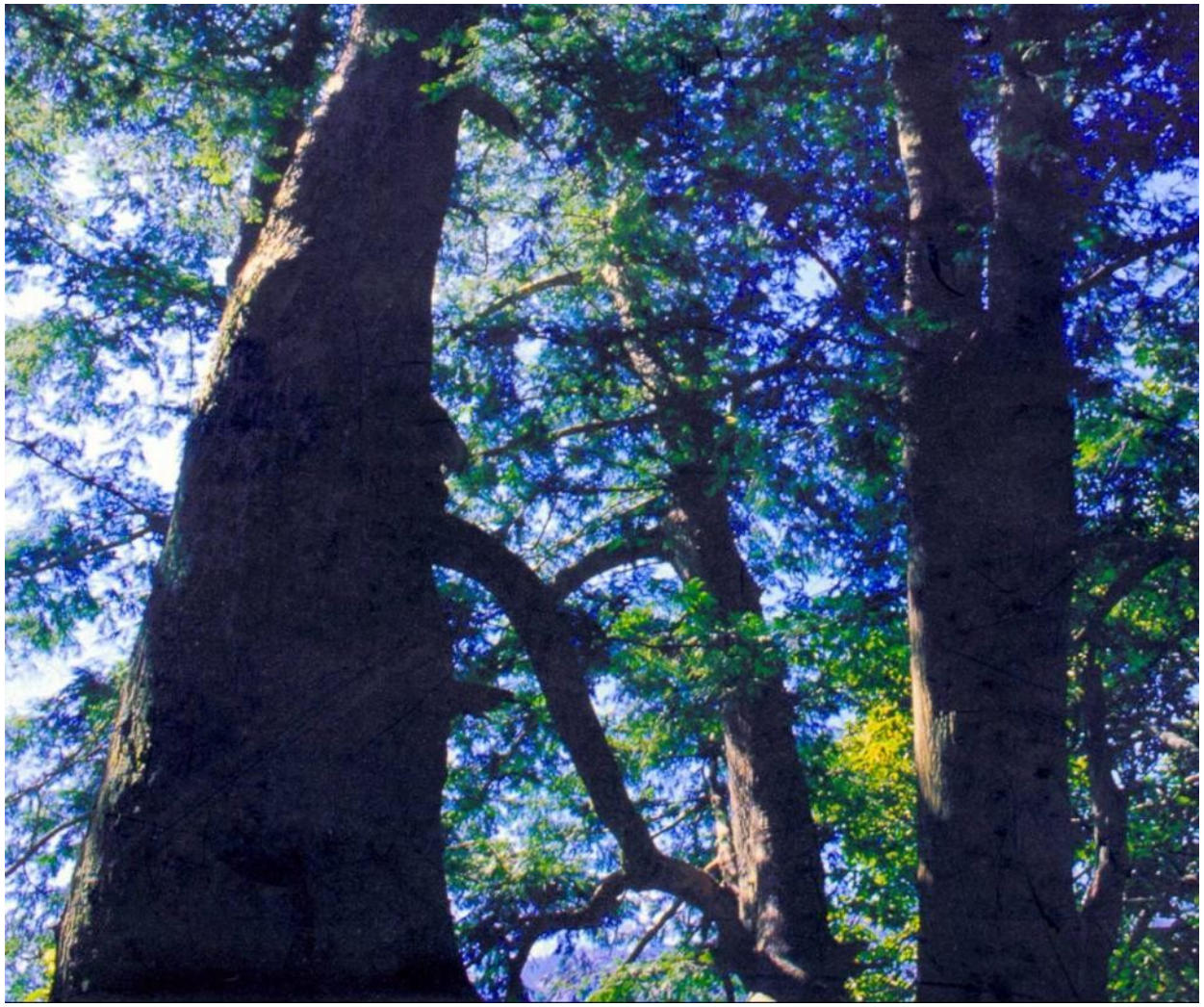
Landschaft als Touristenmagnet

- 價格不是決定一個地方產業存廢的唯一條件，調查，研究，文化創意，以及永續經營一個地區的決心，才是區域能否成功發展的關鍵因素．這個觀念特別值得台灣參考．

- 我們可以由一個史瓦比山谷中的羊的故事，瞭解到德國人如何細膩的保護他們的農村及自然景觀．

故事 2. 檜木霧林原鄉

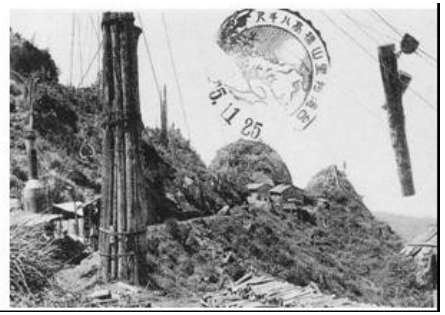
阿里山套裝旅遊線之定位，願景與發展策略



一、阿里山之歷史沿革

- 百年阿里山之開拓史即台灣現代林業史之見證，各項伐木技術為當時日本之冠，足以形成世界級之林業博物館。
- 阿里山森林鐵路遠在 1906 年，為搬運木材而興建， 1914 年嘉義至阿里山全線通車。
- 1976 年起森林火車轉型為觀光旅遊列車。
- 1986 年興闢祝山線，服務欣賞日出之大量旅客。



二、生態及景觀特色



■ 生態特色

1. 阿里山鐵路由海拔 30 公尺爬升至 2,274 公尺，沿途穿越熱、暖、溫三個森林帶。
2. 台灣島中部面海的第一道主稜線，阿里山地區之水土保持與檜木林區之復育，代表中台灣水源與環境保育之關鍵。
3. 阿里山林場曾有三十餘萬株檜木，原始檜木森林獨步全球，尚存之檜木林亟待保育。

■ 景觀特色

1. 日據時代阿里山風景區已享譽國際，為觀看日出、雲海、夕照、古木之最佳場所。
2. 西元 1927 年 8 月 25 日台灣日日新聞社票選為台灣八景之一， 1928 年 2 月台灣總督府規劃阿里山為國立公園。



三、阿里山特色之崩解

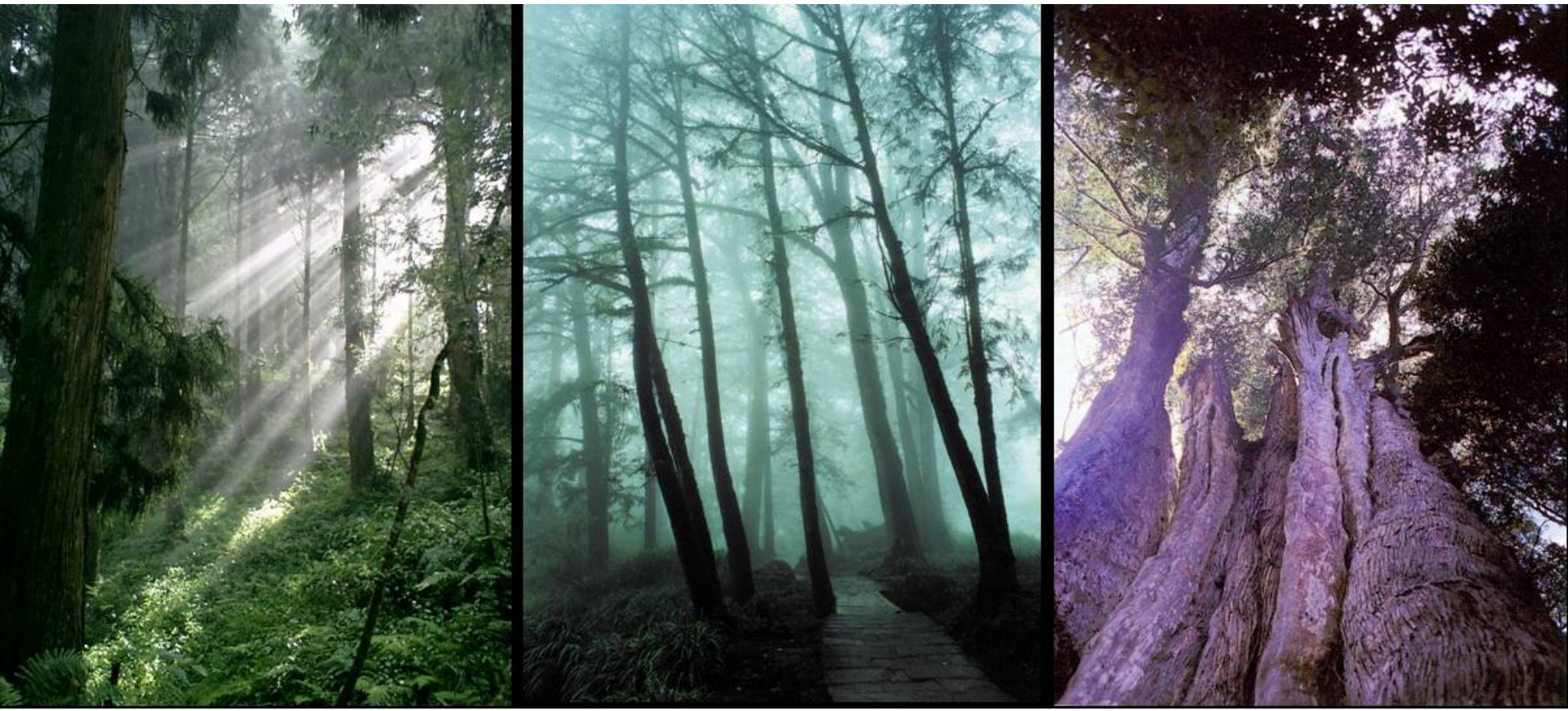
- 原始檜木林幾乎完全消失。
- 官方及民間引進大量外來種植物。
- 官方基礎建設缺乏整體規劃導致零碎混亂之景觀。
- 森林鐵路橋樑坡坎化及各項工程施作導致高山鐵路喪失特色。
- 七〇年代之公路建設使森林鐵路失去功能並引進車流及開發，原以鐵路為主之空間架構嚴重破壞。
- 觀光發展導致混亂的民間開發。



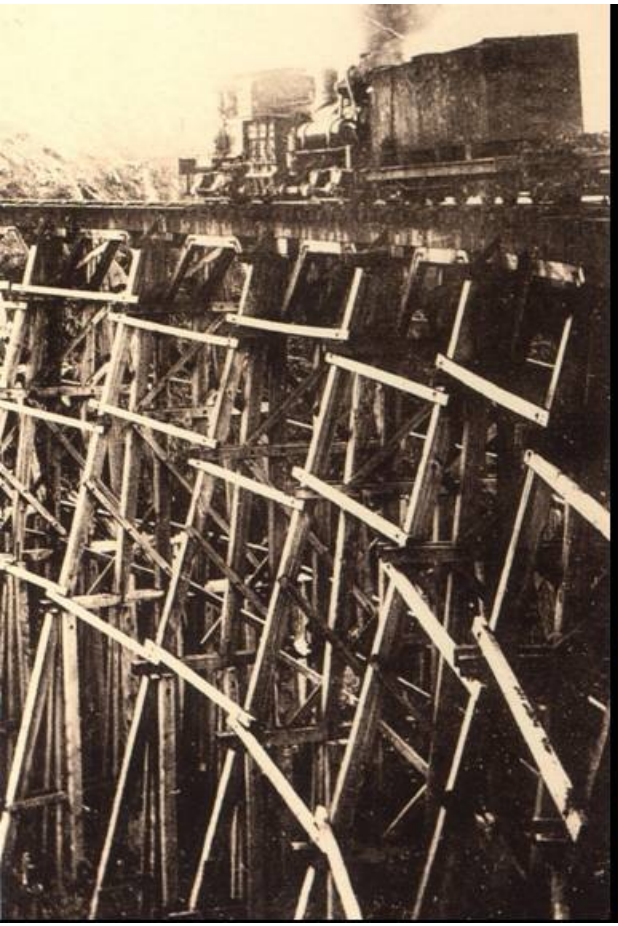


四、阿里山特色重建之願景

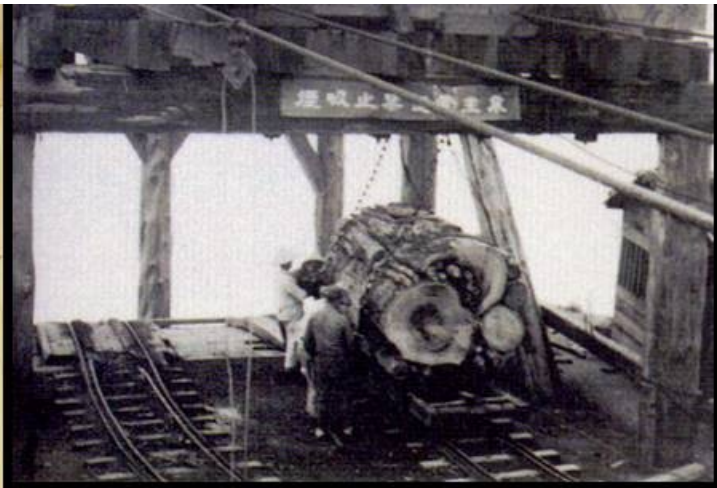
■檜木林復育



- 林業產業史的再現
- 高山鐵路的保存與活化









- 傳統魅力景觀之恢復
- 整備大阿里山地區其他據點，分散主景點的壓力





■林業文化博物館區規劃

1. 部份重建伐木工人聚落及相關產業設施
2. 收集相關機械設備
3. 檜木林復育及神木遺跡保護
4. 森林鐵路



■活化森林鐵路

1. 引進國際經驗提昇阿里山森林鐵路經營水準

a. 國際經驗交流，邀請日本大井川鐵道專業人員來台指導

b. 建立標準作業程序制度（ SOP 制度）

c. 加強人員督導管理及在職訓練

d. 落實緊急救難系統

2. 森林鐵路沿線暨車站周邊整體景觀規劃國際比圖

經國際比圖重新改造主要場站，含竹崎站、樟腦寮站、獨立山站、奮起湖站及客車廂型式等。將於二個月內邀請國際一流規劃設計師抵台展開設計工作







鄒族部落社區總體營造

1. 引進社區總體營造理念，規劃鄒族部落地區文化及生態之旅。
2. 推動里佳「藍色部落」輔導計畫等工作。
3. 達邦特富野步道、遊憩景點及古道整建、鄒族文化園區規劃建設。
4. 茶山整修涼亭，山美至里佳古道整建。



準則 12. 象徵與整體意像的經營



人の心に蓄積されてシンボルは生まれます

魅力と個性がシンボルの必要条件

シンボルには個性と魅力が必要です。どこのまちにもあるものではシンボルにはなりません。個性的で目立つものでなくてはならないのです。しかし、シンボルはランドマークとも違います。かつてのシンボルづくりには、どこかランドマークと間違えているのではと思えるようなケースも多くありました。例えば京都駅前の京都タワーです。背が高くて目立つものです。しかし、ついにシンボルにはなり得ませんでした。喜多方のラーメンなどはもっとも今日的なシンボルといっていいでしょう。個性と魅力があります。

心に馴染んだものがシンボルになります

シンボルはある日突然生まれるものではありません。パリのエッフェル塔はランドマークでもありますが、その大きさでシンボルになったわけではありません。当時の科学技術のシンボル——鉄という新時代の素材によって、時代のシンボルであることで、パリのシンボルになり得たのです。それとともにエッフェル塔100年の歴史が、あの塔を世界じゅうに知られるシンボルとしたのです。人々の記憶の集積が、エッフェル塔をシンボルに育て上げたのです。

シンボルさまざま

① 時間のファクターがつくるシンボル

京都の大文字五山の送り火は歴史のなかで繰り返され、人に馴染んでシンボルに育ちました。大文字焼きというわかりやすく、人に伝えやすい言葉が、この送り火に通称として与えられたのもよかったのでしょう。

京の舞子さんも時の流れのなかから生まれたシンボルです。本当の舞子さんを見たことのある人は少なくても、さまざまなメディアを通じて繰り返し伝えられる舞子さんのイメージは、時とともに京都のシンボルになりました。繰り返す時間のファクターこそ、シンボルづくりの要素でしょう。

② 記憶を探り感動を共有する

例えば松本の開智学校です。明治の大工の気概、当時の人々の教育への意気込み、ここで育った人たちの記憶、そして、ここを訪れる人々に与え続けてきた造形上の強い印象が、開智学校を松本市のすばらしいシンボルにしました。











例えば那智の滝。自然への畏敬、感動が、この景色を見れば古代人ならずとも、おのずと感じられるはずです。その感動の記憶と共有化が那智の滝を日本のシンボルに育てたのでしょう。

③ 五感を通して感動する喜び

感動にはさまざまなバリエーションがあります。シンボルはどこかで、人の感動につながっていかなくてはなりません。感動には見る、聞く、嗅ぐ、触れる、味わうのほかに、感じる、感動する、揺さぶられる、取り囲まれる、参加する——などさまざまな体験が基本になっています。これもまたシンボルを生む大切な基本軸のひとつです。本歌取りのような東京、高円寺駅前商店街の「高円寺阿波踊り」もまた、参加する喜びがあってはじめて成功しました。

④ 再発見し育てる意志

新しいまちのシンボルづくりは身近なテーマの掘り起こしから始めるべきでしょう。言い換えるとまちのシンボルは再発見されるべきものだといっていいでしょう。じつは身の回りを見てみると、どんなまちにもなんらかのシンボルはあります。それを再発見し、育てることが新しいシンボルづくりの一番の近道でしょう。言い換えればシンボルはすでにあるもののはずなのです。例えばその土地の伝承、産業、場所の力。よそのまちにない魅力の発見。それに気づくことが一番です。それを気づき、育て、発展させることがシンボルづくりの基本です。

⑤ 活性化とメディアの刺激

1日でシンボルは生まれないとしたら繰り返すことが大切です。飽きず繰り返す。津和野の鯉はまちの人々のたゆみない努力でシンボルと認められたのです。旅の人たちがこれに感動し、人に語り伝え、再びやって来た人たちがそれを再確認するという流れがここにはありました。もうひとつ大切なこと——それはメディアを通してニュースを間断なく流すことでしょう。ときにはニュースを流すための意識的イベントも必要かもしれません。それはシンボルのリニューアルです。

⑥ 保存の意志

近年大いに注目を浴びているのが自然と伝統の保存です。世界から自然と伝統が消え失せようとしているいま、改めて見直されているのがこのジャンルのシンボルです。ヨーロッパやアメリカでは自然の保存は徹底しています。広告板が自然の美しい風景のなかに立つことはまったく許されていません。いまの日本では、看板がないまちということだけでシンボルたり得ます。伝統の保存にはむずかしい問題があります。経済、後継者の問題。

しかし、その伝統がまちのシンボルになり得たら、それを求めてくる人々が増え、保存の難問も解決されるはずです。問題はそれに気づき大切にする意志なのです。















林賢さんの沖縄発見



「春でぃむん」楽譜　日本音楽著作権協会（出）許諾第9372463-301号

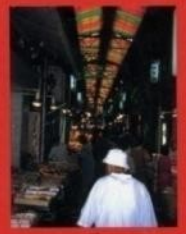
※てるやりんけん

ミュージシャン。1949年コザ（現在の沖縄県沖縄市）生まれ。高校卒業後ミュージシャンをめざして上京するが「自分には沖縄の音楽しかない」と73年沖縄に戻る。82年、妻、上

シンボルだらけのまち——京都

京都は日本最高のシンボルだらけのまちです。その京都にシンボルのありようを学んでみました。


四


三


二


一


六


五


七


八


九


十


十一


十二


十三


十五


十四


十六


二十


十九


十八


十七


二十四

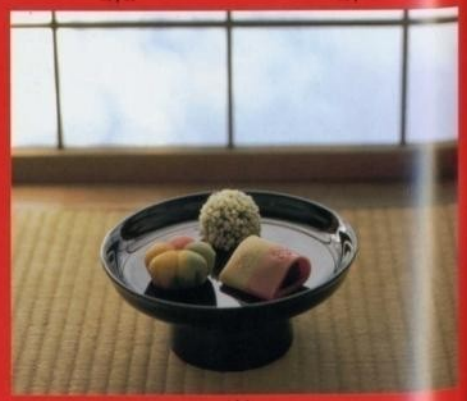

二十三


二十二


二十一


二十六


二十五



だから京都に
ひきつけられる

一 京野菜のひとつ、えび芋 写真／菅佳奈
二 華麗、重厚、技巧も極めた西陣織の金襴
三 京都の繊細な味を支えている錦小路
四 京都の夏の風物詩、船遊びの屋形船
五 典雅な美術をたたえる等人形 「雛飾」
六 茶の湯が京の文化を語む 写真／秋元雄史

七 桂離宮 二〇〇五年四月撮影 写真／二川幸夫
八 二〇〇五年四月撮影 写真／二川幸夫
九 二〇〇五年四月撮影 写真／二川幸夫
十 祇園祭のクライマックス、山鉾巡行
十一 静寂の空間である桂離宮 撮影／二川幸夫
十二 日本の美の典型のひとつ、茶室 撮影／二川幸夫
十三 雅やかに華麗な京都の祭りのひとつ、葵祭
十四 北山杉 写真／菅佳奈＋中川一政
十五 くじらのテンプラ 写真／菅佳奈
十六 舞人の衣装の美しさが際立つ葵祭
十七 京都御所 二〇〇五年四月撮影 写真／二川幸夫
十八 京のまちのたたずまい 二〇〇五年四月撮影 写真／二川幸夫
十九 京の神社は日本の神社のルーツ 撮影／二川幸夫
二十 清水焼は京都を代表する陶磁器のひとつ 写真／菅佳奈
二十一 静寂な空間に入る光と影 撮影／二川幸夫
二十二 日本の美の典型のひとつ、茶室 撮影／二川幸夫
二十三 雅やかに華麗な京都の祭りのひとつ、葵祭
二十四 北山杉 写真／菅佳奈＋中川一政
二十五 舞人の衣装の美しさが際立つ葵祭
二十六 京のまちのたたずまい 二〇〇五年四月撮影 写真／二川幸夫
二十七 京都はまるごとで全体に広がるまち 写真／菅佳奈

準則 13.
國際觀光客及學生客群的意義

國際觀光客的意義：

- 國際接軌，取法乎上的品質要求
- 行銷台灣，國民外交

學生 - 透過學校系統的推廣



準則 14. 整體規劃的重要性

常見的風景區經營問題

- 缺乏願景的零散的開發
- 混亂的預算編列
- 配合地方政治的建設

- 景觀綱要計畫的重要性





台南縣鄉村風貌綱要規劃中生態向度未來行動之建議

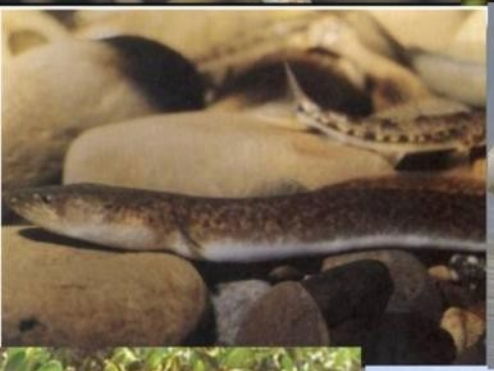
莊孟憲[1]、陳永興[2]

[1] 真理大學麻豆校區自然資源應用學系講師

[2] 株式會社 象設計集團


















農村景觀整備的關鍵

社區參與式的設計
Community Design

- 民眾自發、自力建設
- 聚落的土地利用計畫



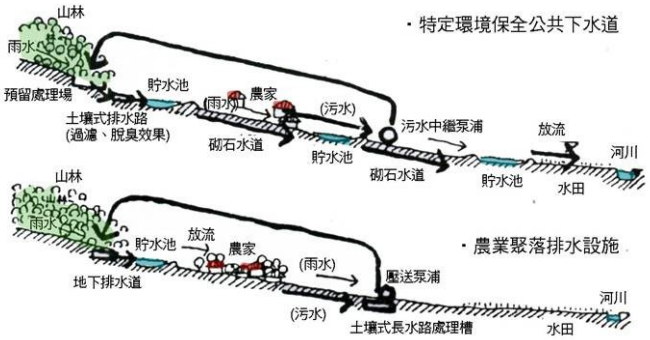




農村景觀整備的關鍵

整體性的設計
Total Design

- 多樣性、多面性
- 網絡的建立
- 資源回收

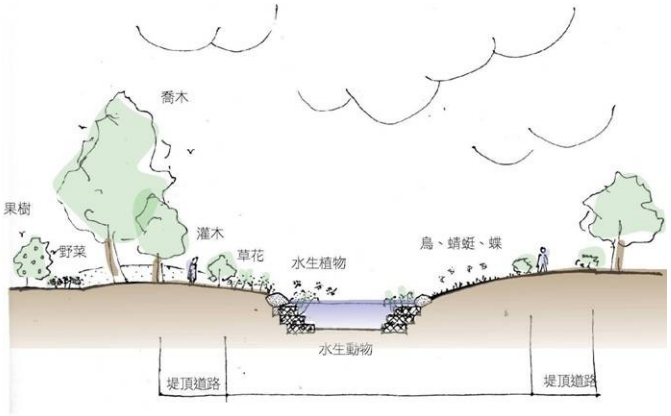


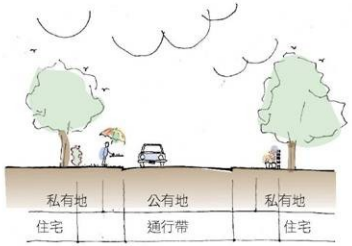


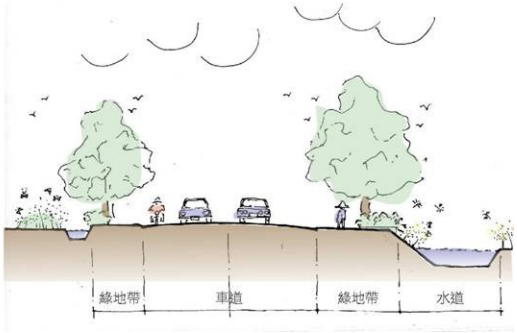
農村景觀整備的關鍵

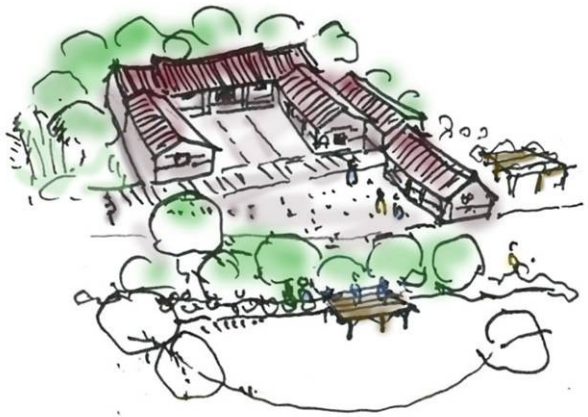
生態性的設計
Ecological Design

- 柔軟的界面
- 樹蔭下的空間
- 公共場所的綠化















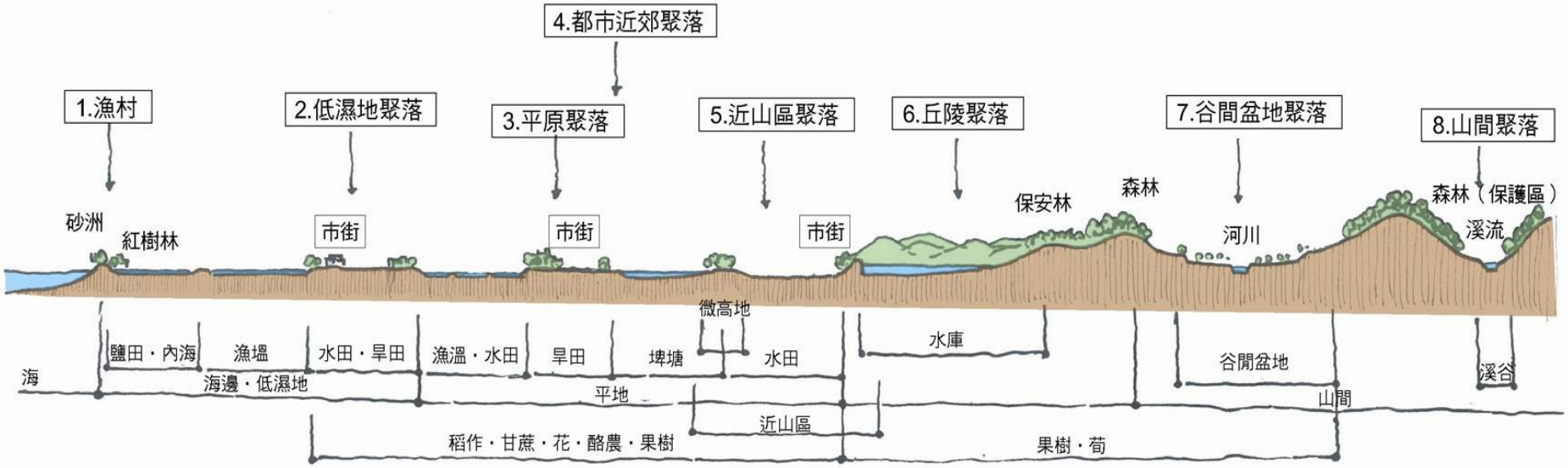


農村景觀整備的關鍵

永續性的設計
Sustainable Design

- 長期的觀點－造林，自然材料，原生性材料，植栽
- 階段性的計畫－由可行性高的工作開始，持續性，棄而不捨的投入





自然生態系的再生

水的循環（森林是海的戀人）

海邊的自然復元

動植物

水岸的遊憩

山的自然復元(造林)

河川治理

山的遊憩

海岸遊憩

有機農業
減少農藥・化學肥料

水田是綠庫

水際環境的生態設計
(圳 水路 埤塘 水庫)
與網路系統建構

道路網計畫與
行道樹計畫

都市化社會中農業

微地形的保全

都市化的管制
市街地及農村的土地利用調整

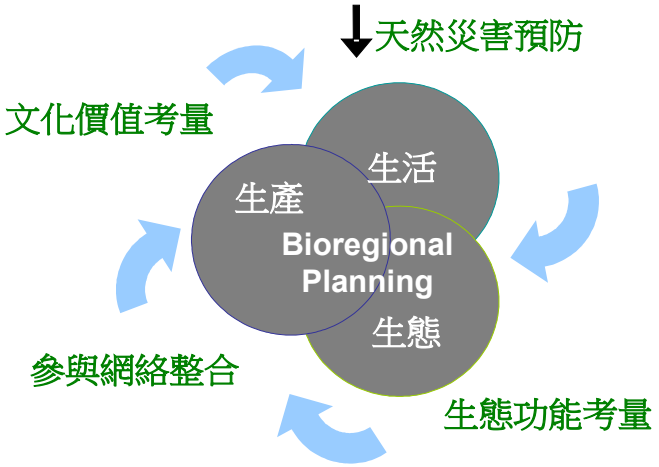
聚落環境的修復・改造・復元
(居民與政府的合作事業)

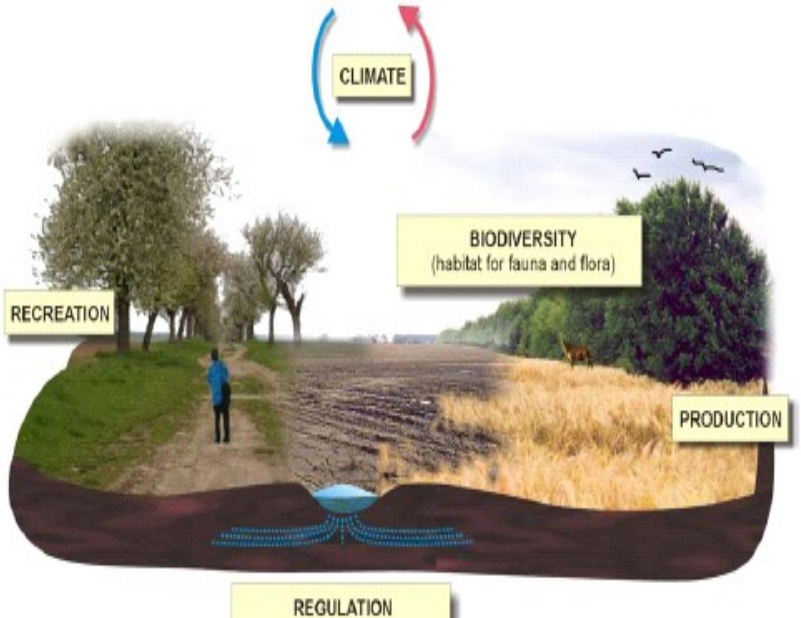
「農」的遊憩

農業的三方向
-自產自銷（地域自給）
-特產物　（商品作物）
-農村觀光

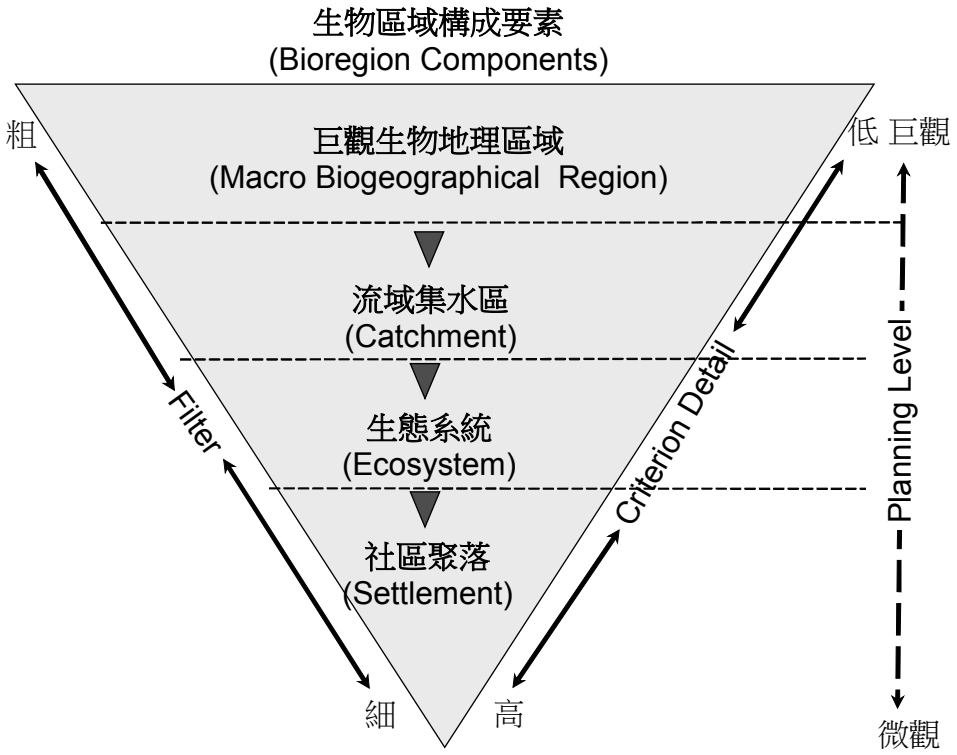
生態地理區 (Bioregion) 的概念

- 大小足夠到可以維護生物群落、棲地及生物系統的整體考量
- 地方文化特色及生活場所的指認
- 是動態且相互影響的土地使用組成
- 是結合自然生態系統及人文社經系統的架構
- 政府、社區、等公私權益關係部門，共同協調討論：區域界定、公私有土地使用的規劃及未來發展構想與維護管理等，以確保在永續方法下滿足人類需求。





生態地理區域規劃
Bioregional planning



規劃步驟：

Step1. 生態地理區域規劃單元定

Step2. 土地使用分類系統建立

Step3. 整合性土地管理單元建置

Step 4: 人為環境的發展定性

Step 5: 空間規劃資訊系統（SPIS）建置

Step 6: 生物區域管理：

劃設地景分類圖協助土地管理

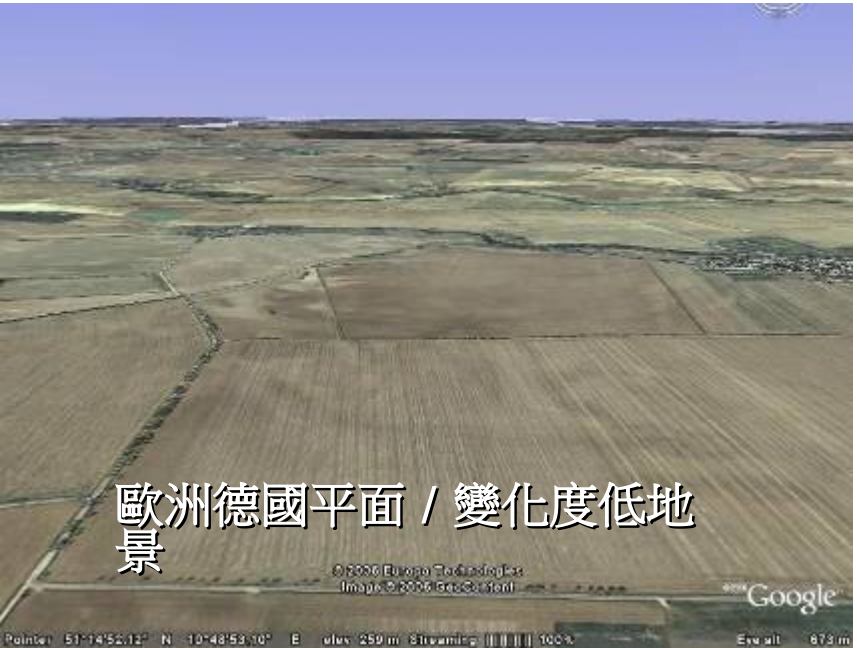
基礎圖資

自然系統
- 氣候
- 水文
- 土壤
- 地形
- 地質
- 植被
- 動物

人文系統
- 土地使用
- 地景型態

台灣獨特的地形環境下的人文發展
- 地景風貌立體且變化度高（3/4 的山坡地）
- 生物多樣性豐富
- 近百年來特殊的土地利用行為正負面的脈絡與現況

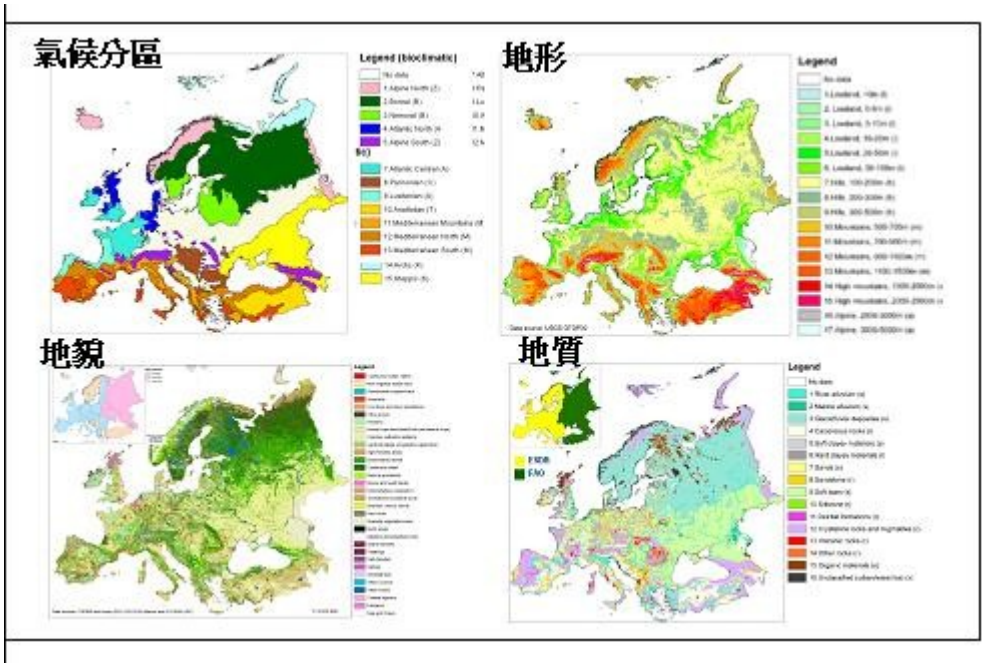
台灣地景生態特色在世界的獨特性
- 低海拔的平原高密度城鄉發展區
- 中低海拔的丘陵農業發展區
- 中高海拔的生態休閒及原民文化特色區
- 高海拔的高山森林保育區



歐洲德國平面／變化度低地景



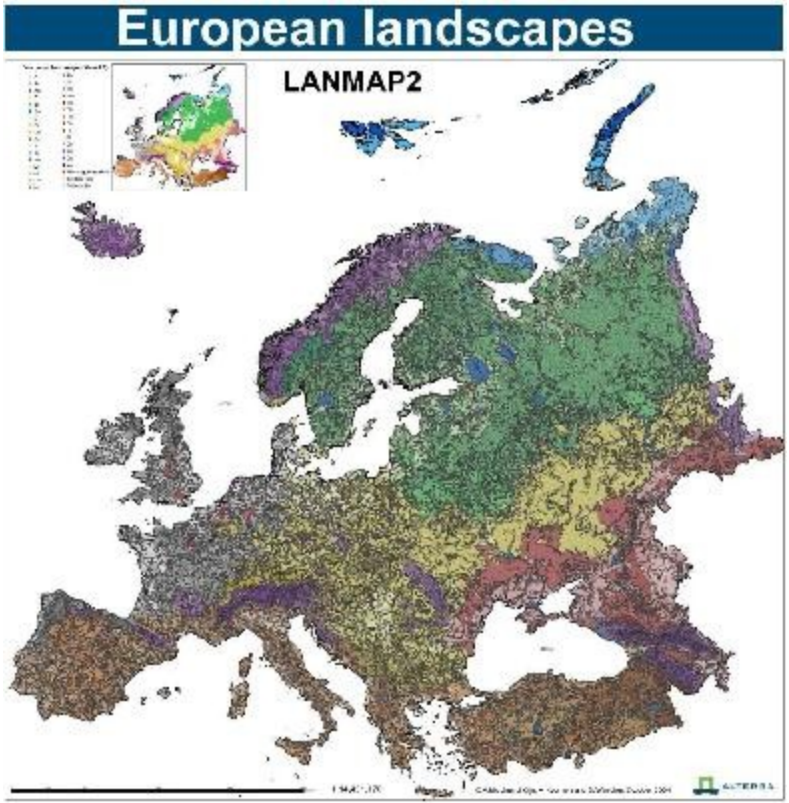
生態地理區規劃操作案例：歐洲地景特色分類系統圖建立方式



eCognition 影像繪圖軟體



衛星影像圖　　影像數位化　　影像判讀分類



準則 15.
一流的建築師，專業顧問與 企畫總監

國際水準的專業要求

- 一流的建築師與地景建築師
- 企畫總監
- 景觀總顧問
- 顧問群
- 我找到台灣最好的顧問了嗎？




KEELUNG

■據點整體景觀改善

- 阿里山沼平車站
- 阿里山祝山車站

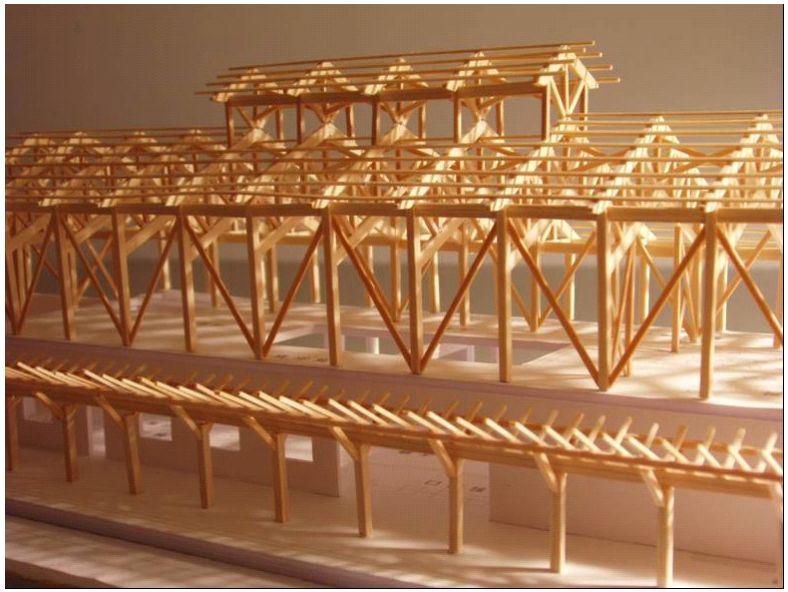


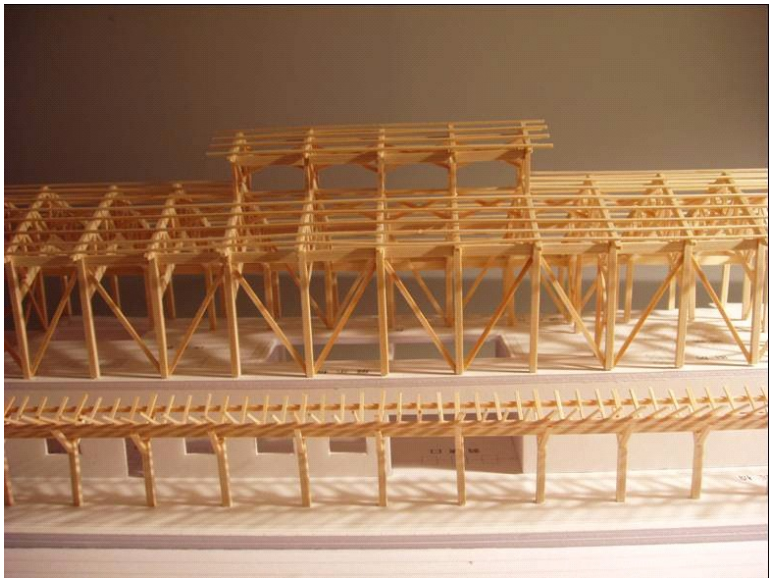
1. 阿里山入口地區

遷移路口加油站及佛像，整體規劃塑造入口意象



●阿里山沼平車站









●阿里山沼平車站

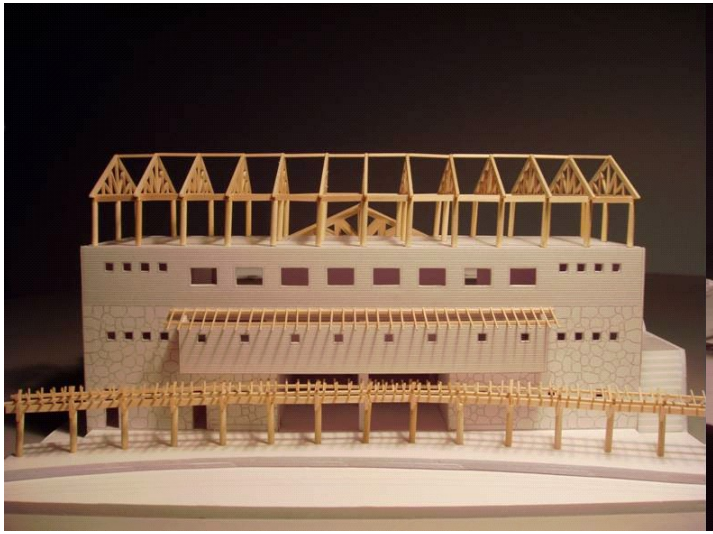


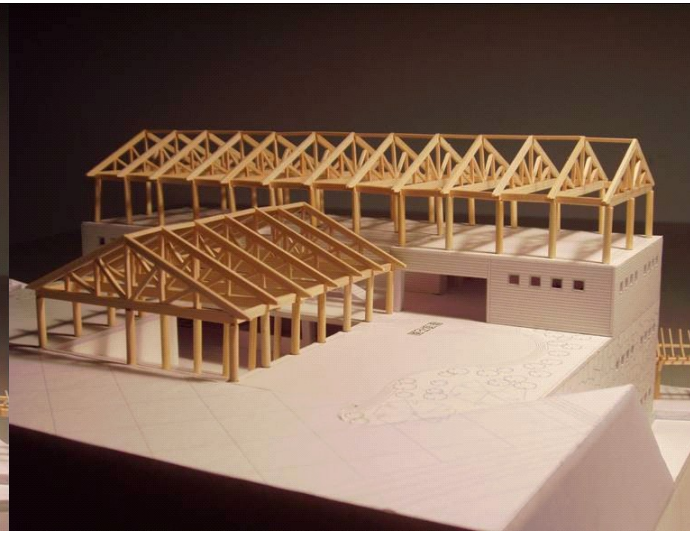
2. 沼平車站週邊地區

重建車站，增加眺望功能，改善遊憩動線

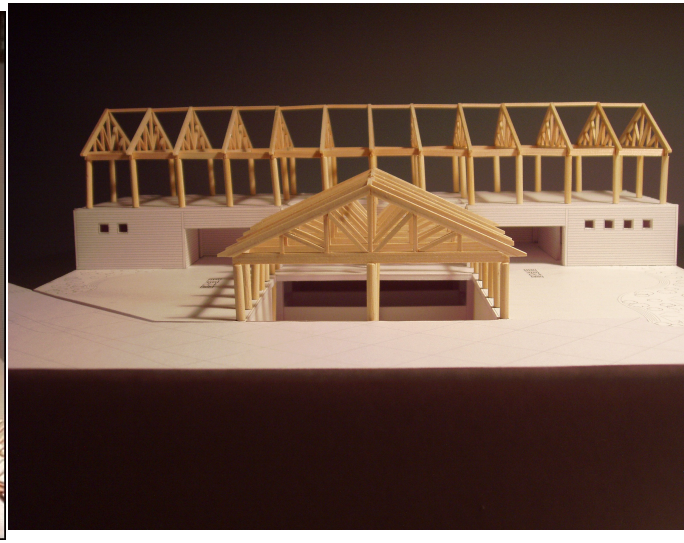


●阿里山祝山車站



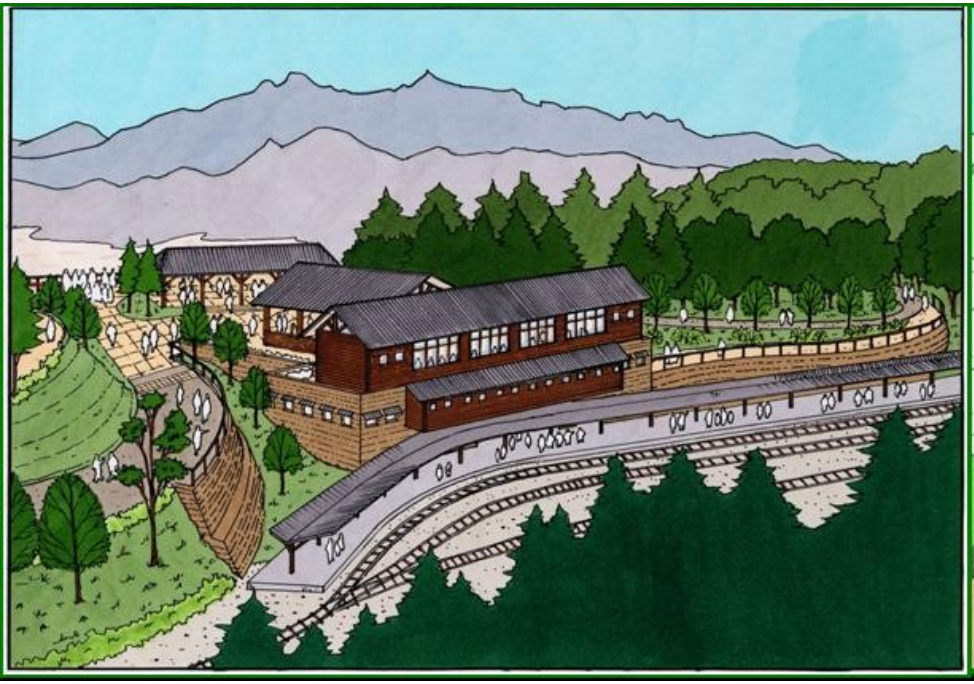


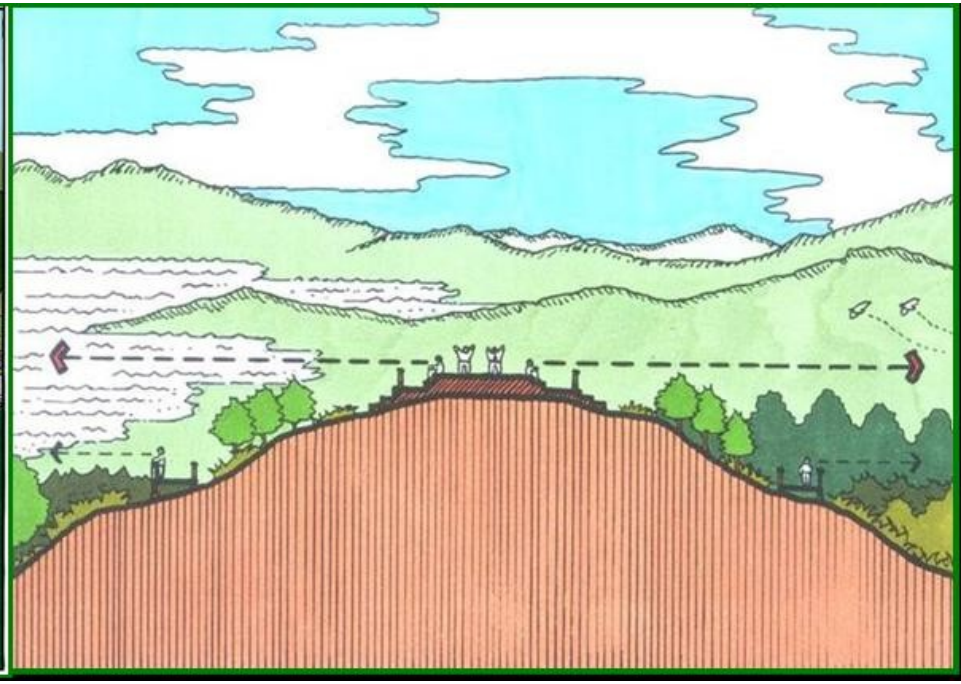




3. 祝山車站週邊地區

整合攤販、車站與觀日廣場等既存設施，作為多功能據點，並設置小型植物園



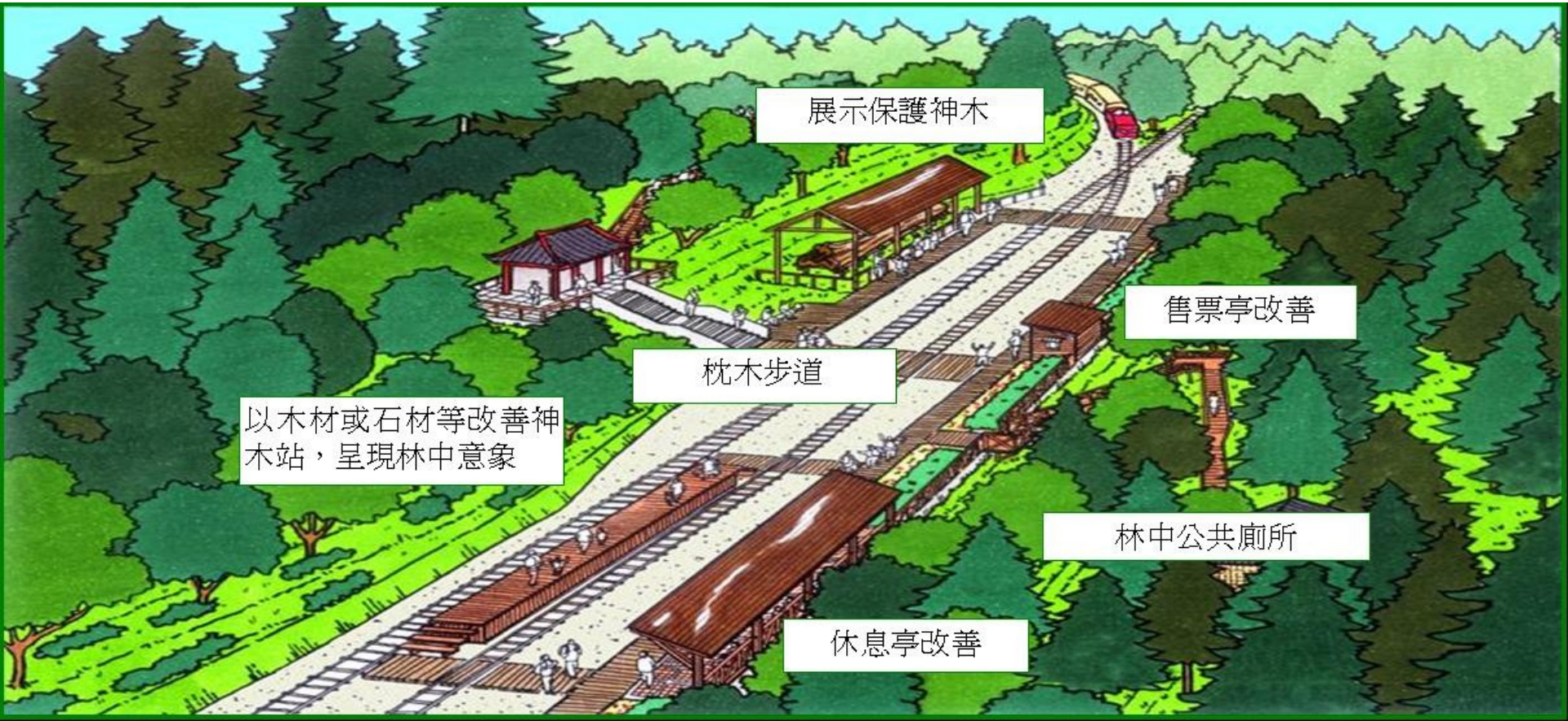


●阿里山祝山車站



4. 神木站週邊地區

展示神木，以石、木材整建週邊設施

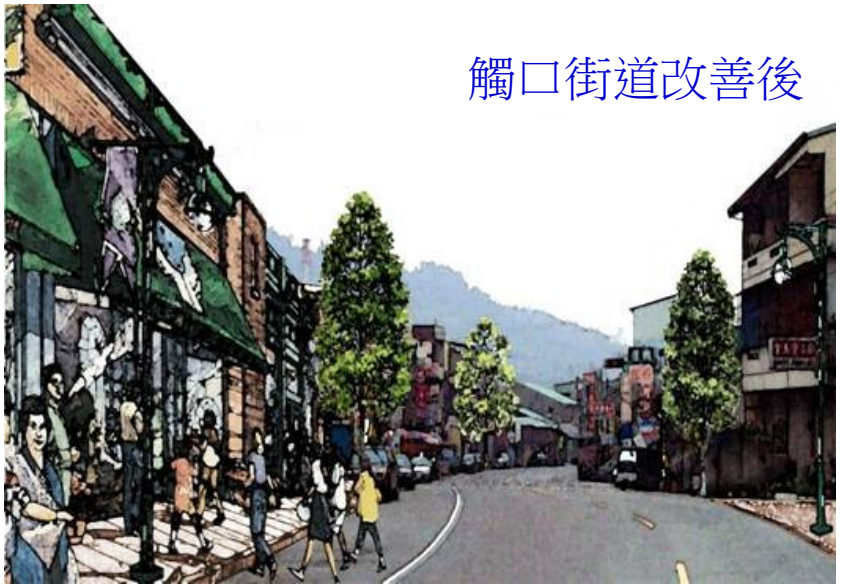


準則 16. 管理重於建設

觸口街道改善前



觸口街道改善後



石桌街道改善前



石桌街道改善後



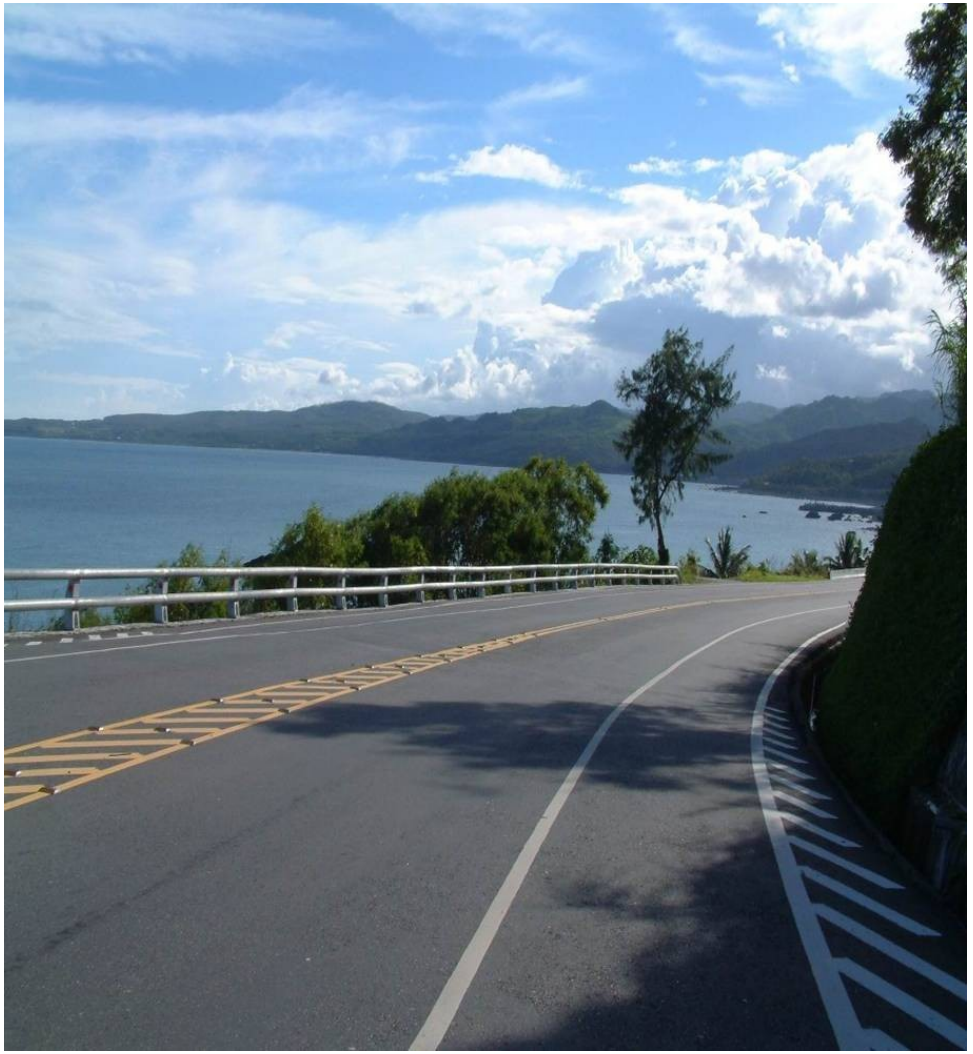
北海岸景觀改善計畫



台十一線檔土牆美化



台十一線植栽綠美化



台十一線紐澤西護欄改善成果

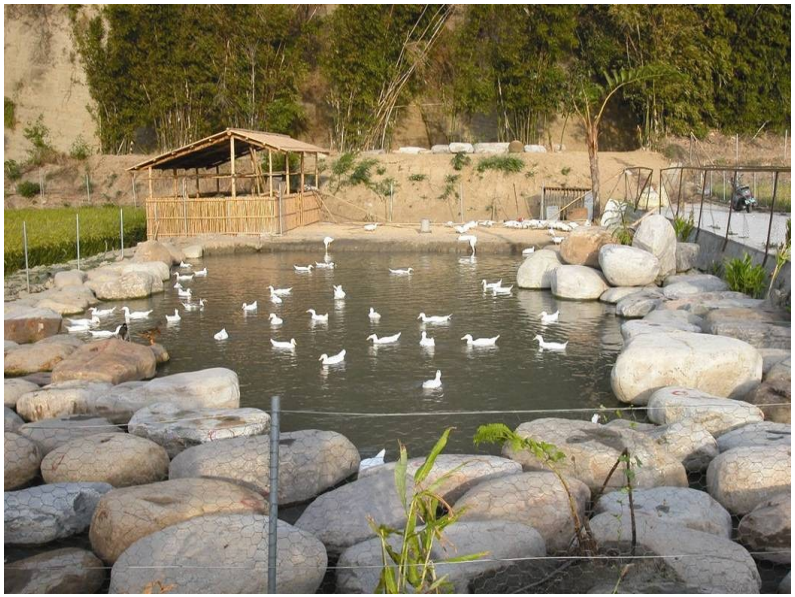
準則 17. 社區營造與工作圈





卯澳新風貌工程」

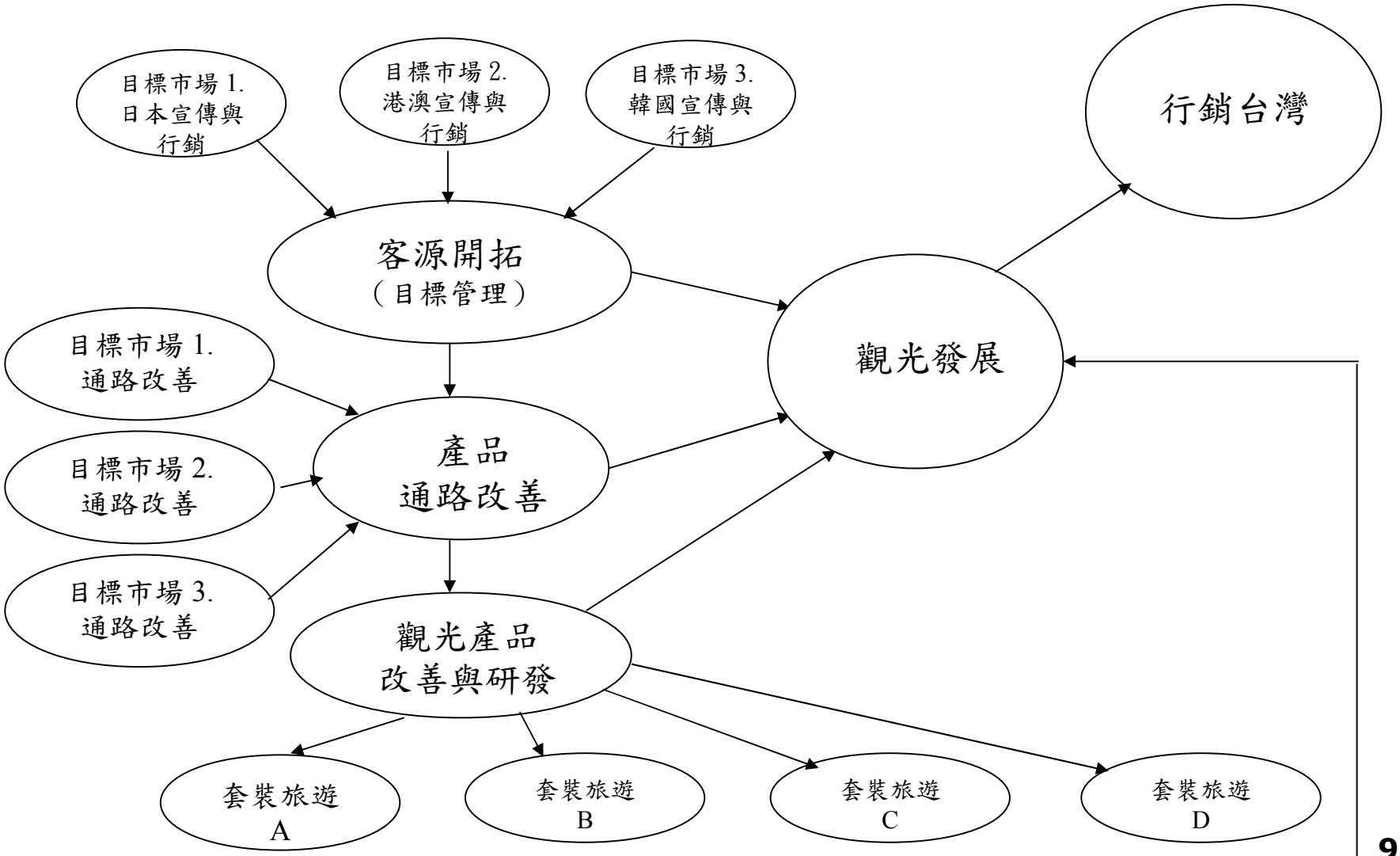
苑裡鎮上館生態社區風貌營造

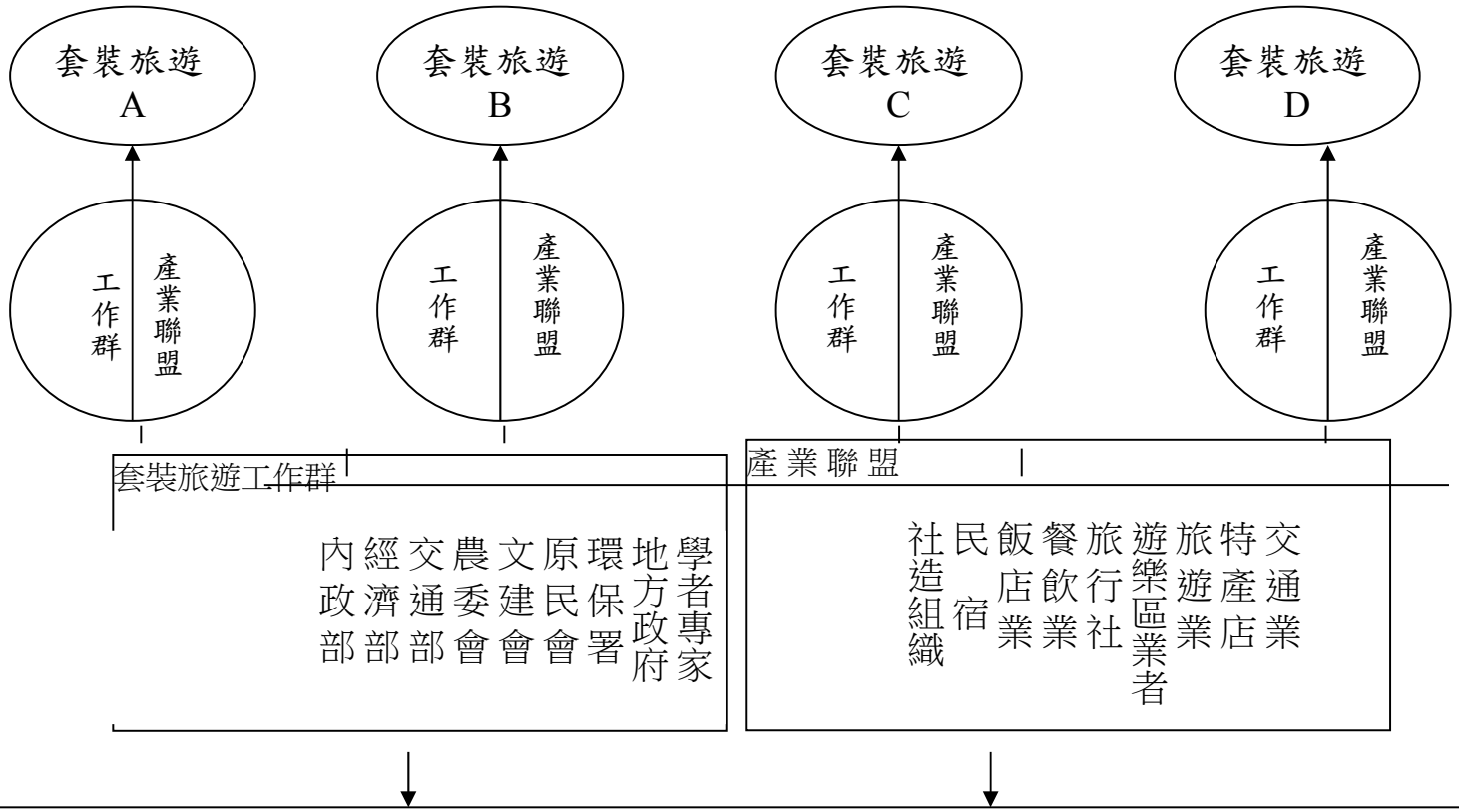




產業聯盟及工作圈之運作

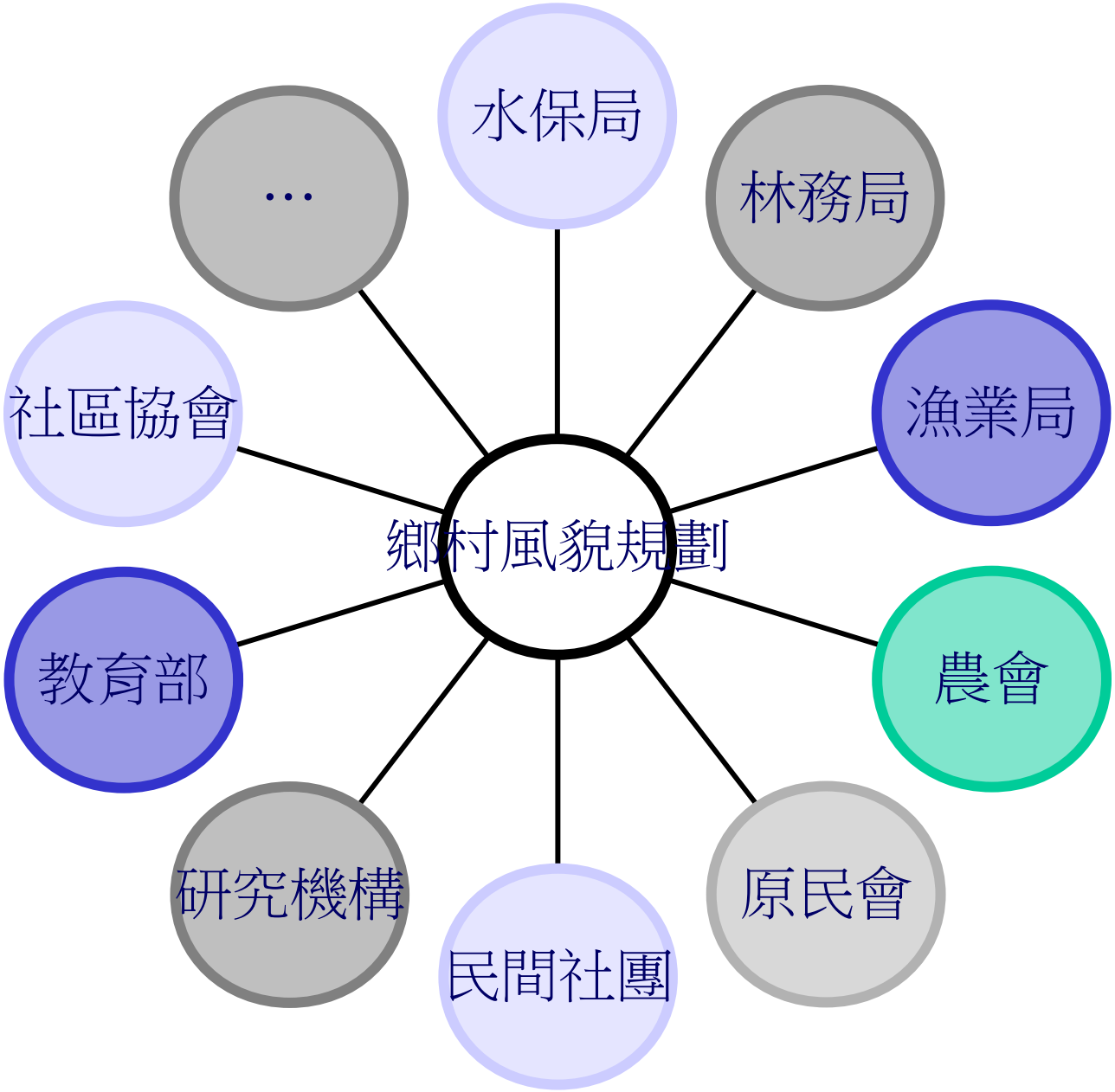
■ 套裝旅遊路線產業聯盟及工作圈之運作模式





效益：

一發展經濟、創造就業機會。
二均衡城鄉發展。
三提昇行政效率。
四提昇國民旅遊品質。
五保育生態、維護自然景觀。
六發展文化資展、維護古蹟。
七、改善機場、通關、交通運輸等效率。
八、改善觀光景點。
九、改善都市計劃及城市景觀。
十、整頓招牌、攤販、人行道、騎樓。
十一、改善道路、橋樑之品質。
十二、推動社區總體營造。


水保局
…
林務局
社區協會
漁業局
鄉村風貌規劃
教育部
農會
研究機構
原民會
民間社團

準則 18.
農村作為台灣慢活，永續發展的典範



新農業與新農村 - 農村的重要性

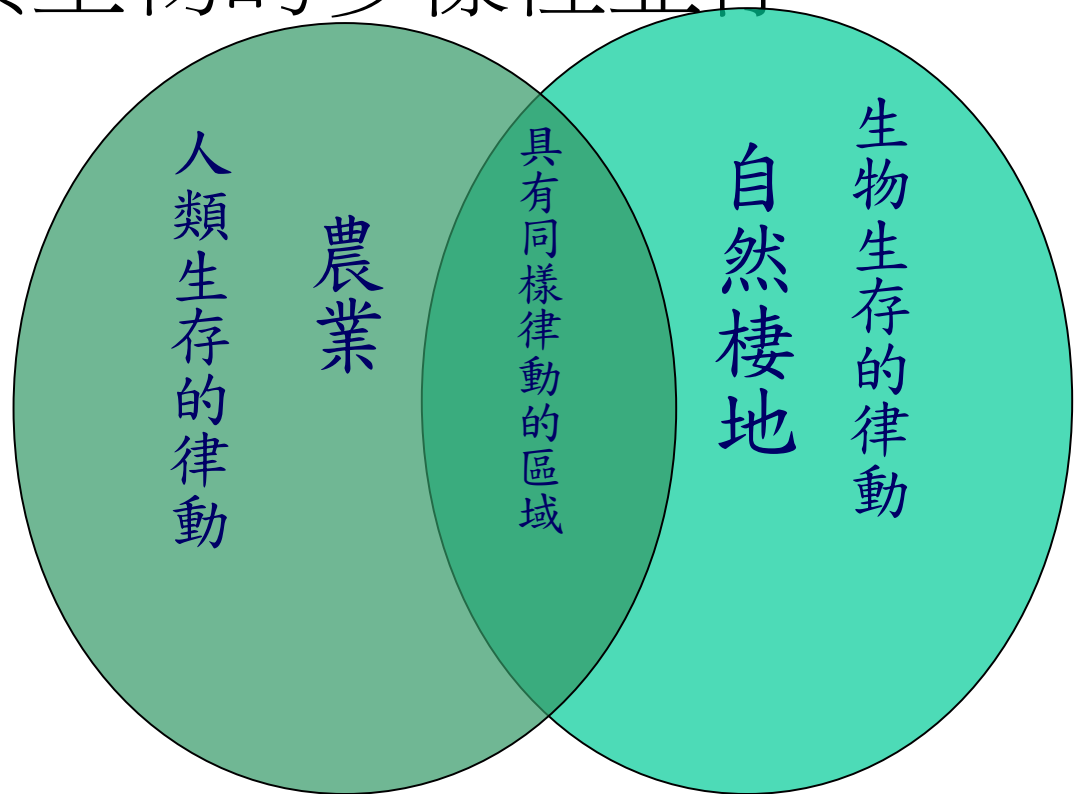
- 農村應以低碳，慢活與自然共生之生活哲學發展社區農業，新的農村生活文化，農村產業型態以及空間美學 .

- 應以農村為基礎，推動永續農業政策，其政策範圍應涵蓋國土保育保安，防災，水資源，糧食安全，農業永續發展，農村空間等課題 .

生態農業保全區

人與自然共生的的區域

- 非休耕
- 農業的活力與生物的多樣性並存
  - 菱角田生態系
  - 蔗田生態系
  - 水稻生態系
  - …









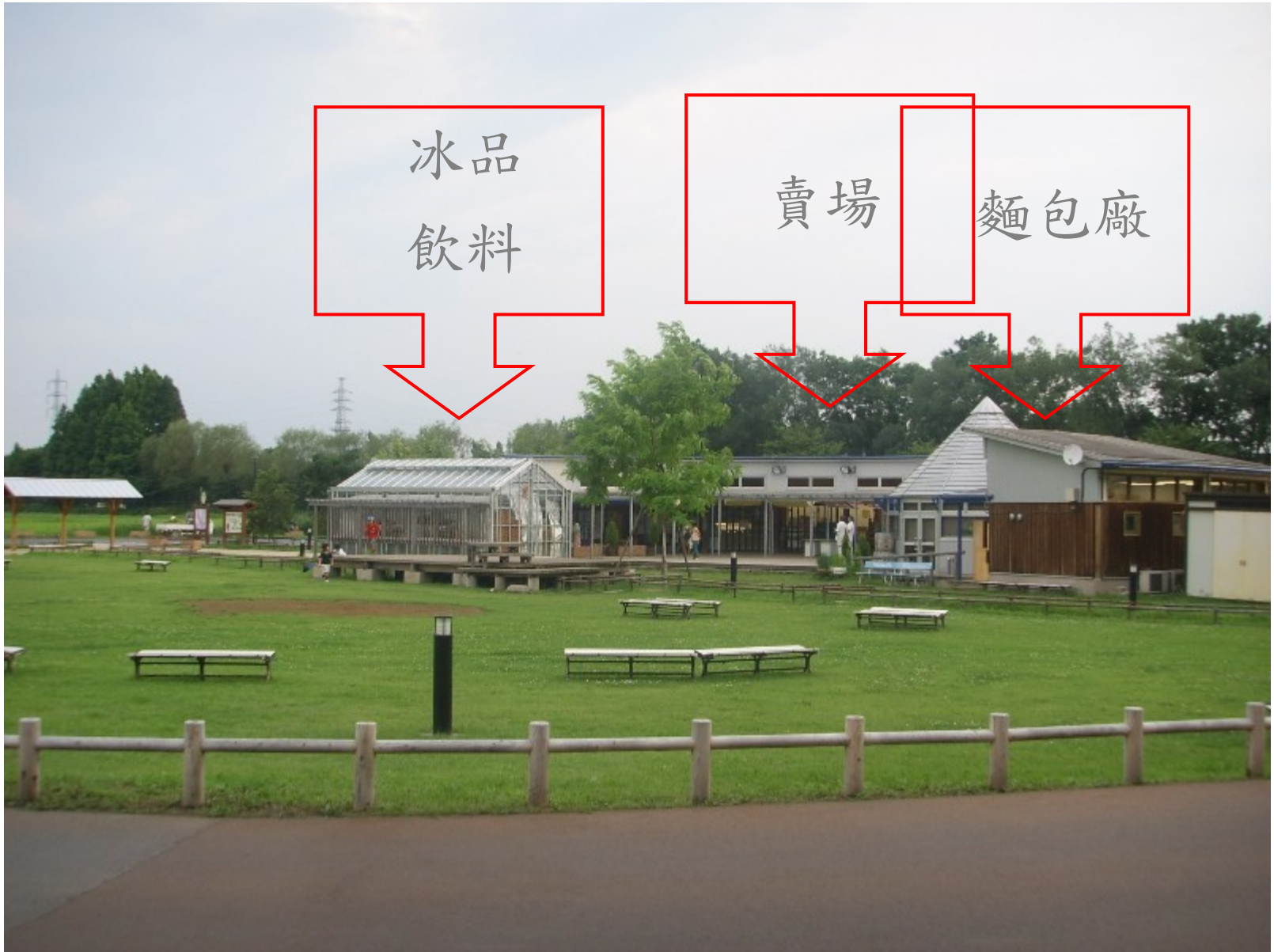








社區農產販售中心



内子





- 農村可以發展出低耗能，慢活的生活模式.農村是生活、生產、生態三生一體的整合性生活聚落，能脫離現代大規模高耗能基礎設施而存活。

- 好的農村，正是未來低耗能都市發展的典範。

- 農村是台灣永續發展，區域均衡的關鍵.台灣成為真正進步國家的契機不在發展已趨成熟的城市，而在細膩規劃二線城市與農村.

總結 -- 18 個準則
哲學層次

1. 地景的神聖性
2. 本質與特色的洞察
3. 生態基礎
4. 大量目標的謬誤
5. 追求品質與卓越
6. 空間感與 空間美學
7. 時間感與歷史感

規劃層次

8. 深度之旅，知性之旅
9. 體驗的重要性
10. 故事 - 經營一切的劇本
11. 幕之內餐盒的啟發 - 套裝旅遊路線
12. 象徵與整體意像的經營
13. 國際觀光客及學生客群
14. 整體規劃的重要性 - 景觀綱要計畫
15. 一流的建築師，專業顧問與企畫總監

日常運作層次

16. 管理重於建設
17. 社區營造與工作圈
18. 農村作為台灣慢活，永續發展的典範